

韻府君羊玉

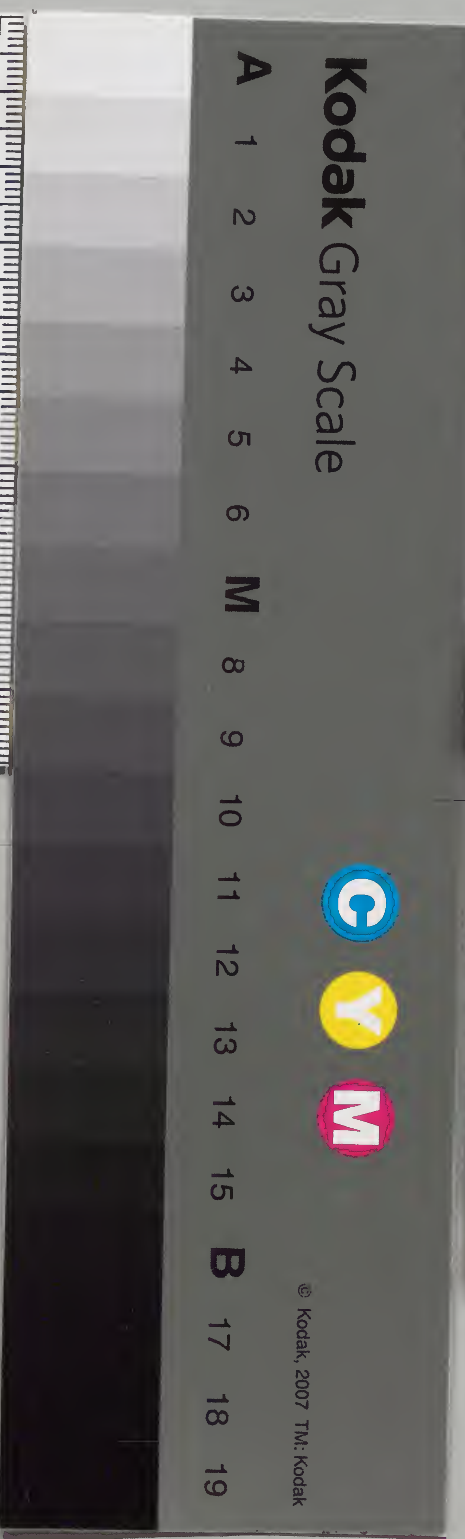
十九年止

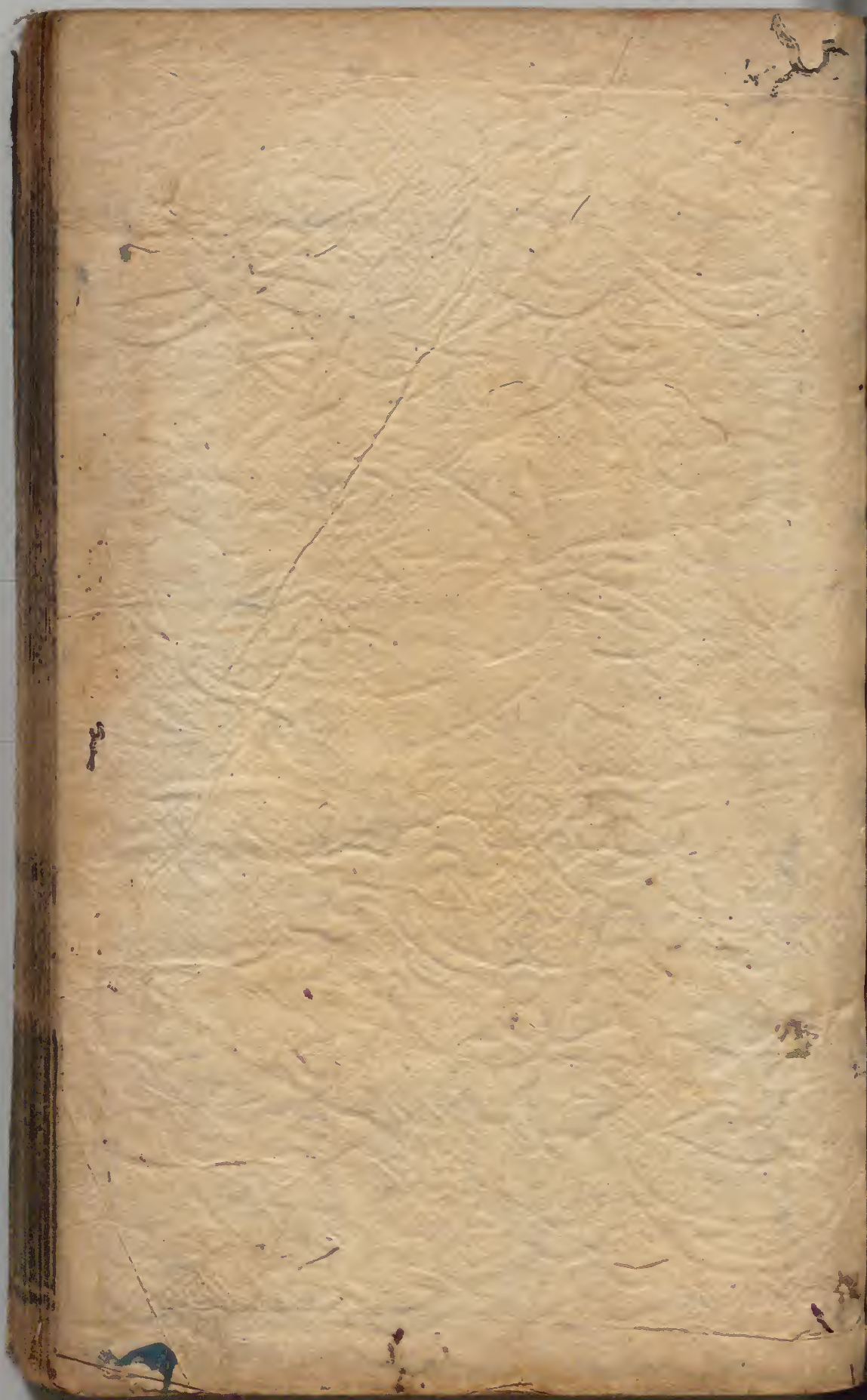
十九卷 二十卷
十一卷 十二卷
十五卷 十六卷
十七卷 十八卷
洽葉合錄藏錫

漢書門
類
函
架
冊

內閣文庫	
番號	漢 2988
冊數	10 (10)
函號	366 31

類書十五卷





一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

日四同

韻府羣玉卷之十九

入聲

十藥

與鐸同用

車之庫

藥

以灼切書若一不暇眩語季康子餽

大藥

苦之資世丹狂藥晉

其

聞而藥不如吉貴人正禮不亦乖乎乃止

勿藥

喜易三世藥醫不

姓

劉阮採藥一遇二仙女詳源龐公採藥

後下

入鹿門韓康賣藥

不

價則鬚和藥李勣病太宗自服羊祜藥

吳陸

抗病晉羊祜饋之藥抗

願

元行冲謂狄仁傑曰以病不飲藥

法朱雲

一呼醫恨妻賣藥

比

育庫伙伏傳位大將軍都吝毒使婢丸藥

晉陳壽

遭父喪有疾醫誤

進

藥唐杜黃裳疾者無治老藥

方病皆

可治惟無病無藥相逢更

疾

遂甚終不怒謹使

何言

相逢更

亦一！披道吾和尚一鉢歌无可寓无可着何外更求！一藥之是曹溪
 病之是藥到頭兩事須拈却亦一藥亦无病正是具如灵竟性傳別
 智藥 僧智藥至一！開 人名 唐入幼多疾故 姓氏 郎詳郎 花木考

藥又名特爾苗特以贈本卓黑牽夷...
 金帶圍而不種有時出財城中富有宰相韓魏公王岐公王荆公陳天傳
 皆然后山叢話玉盤孟南禪資福兩寺一歲最盛有白花正負如覆盆下十
 餘葉盛之如盤因易名云玉盤孟東坡詩序...

十餘方枝臨隱... 楊州朱氏園種一五六萬株花盛時作錦亭以待遊
 者逾月不絕考... 孔常父云唐詩人如盧仝杜牧張祐之徒皆居廣陵日
 久未有一語及一！者是花品未有若今日之盛也...

和臟又辟毒氣故合於蘭桂以助諸食... 報主 約 春祭也春物未成其祭尚薄
 易西 詩跳用兵中 爵躍 東游通道... 鳳躍 蔚然... 距躍 婁...
 隣禰祭... 爵躍 東游通道... 鳳躍 蔚然... 距躍 婁...

劍躍 雷... 忽劍 墮水化龍詳劍 金躍 大冶鑄... 踊 我... 距離 婁...
 百音節 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍...
 詳跳 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍... 卓露躍...

三孔... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...
 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥... 籥...

湖充國圖屋略夫道難言為故言其一誰知其脫略豪傑初未遇其領

略力士可裴相有略其詩略多天略後景恭少博史蛭渠略一名

脚居切与軟脚郭子儀自同州回西大臣就宅置一局人率三赤脚

一婢元祐脚后山徐仙書肯李黃家一注徐清古釵脚筆法如鐺

徒本元祐脚后山徐仙書肯李黃家一注徐清古釵脚筆法如鐺

三脚周賈欲李生同脩道不從賈云頭鏡飛豹脚風定軒一兩餘開

抱馬脚班超使西域至于冥王侯以下号泣煨鴨脚烹茶一狼啖脚晉候

秦使夢一一索統曰脚內夫鐵脚平生一道僧喧字宙后也長若

入其旁不去師跡跡達尺三汗脚顧雲大順中求高逢休諫義去劉子長僕

日叢林田滑之一一尺三汗脚顧雲大順中求高逢休諫義去劉子長僕

一踏他尤就坐伸脚刺史王弘造明无履語左右請發度淵皆頭昆脚

杜牧頃於宰執求小儀小秋皆不遂夢入曰薛春不效用車脚荀勗知一詳

以秋昆脚与一果得比部負外尚書故實刑部也效用車脚荀勗知一詳

不足伸脚唐周智光為同華節度元字脚趙州公君記一个一在

鐺折脚古得道人向折脚四脚僧謙光有才辨而飲酒食肉嘗云但願

古靈行脚何人發言異常詳殺踏向一走兒詩小子一又賈誼賦

禱章履又麻曰一木曰殺一式著一牧羊機禱唐張志和豹席一每

也縣今使俊渠執躡禱趙相虞卿一掩整來說釋禱離疏一而享居士

禱唐朱統推掌織十三禱置道上見者曰一也兩舫芒禱梁王筠為臨

是為有司所奏更膏梁著禱宋張暢為長史媿李孝伯曰君南土一

酌居夕切詩一彼金獨酌馬周舍新豐逆放主人之不顧周命酒一斗八

酌居夕切詩一彼金獨酌馬周舍新豐逆放主人之不顧周命酒一斗八

酌居夕切詩一彼金獨酌馬周舍新豐逆放主人之不顧周命酒一斗八

酌居夕切詩一彼金獨酌馬周舍新豐逆放主人之不顧周命酒一斗八

下謝惠一曰對三酌
吾飲者惟當明月三酌
然賤九韶參酌
酒狂詳在沽套
灼灼錦城官妓名一其善舞
亦作繳生絲縷綴者贈
短矢也孟接弓一而射之
繳出宝弓一新楚世家
音波以石傳一曰落
戈戰國王何不以聖人為弓
張而射之非但夷傷之實也
斫亦作斫書一朝武士猛
斫之脛亦作鐺刺斫豪白
關東多大鋤快斫斫斫斫
斫斫斫斫斫斫斫斫斫
紫荆分斫田真曰一樹
即惟悴人何不如詳荆月桂
斫斫斫斫斫斫斫斫斫

日一益又繁弱一之弓盧之
不能一積弱一必強詳系
其史一不使體少弱揚慎
賦城婿一弱本浦弱白
葉字包一弱細題上若
翦安行庇衫篁高
行賀若太宗酷愛琴宮
并蛙不可以語於海
北一望伴向一而歎詳
一之所一上若下若南
林付踐躅也

註即全書刀古用竹簡筆誤
則以刀削之因名其刀曰削
棘端削觀其

孟天一人三爵君子之飲酒一爵而色灑如也二爵而言三爵而

爵位以命勇十康爵虛也執爵陰鐘宴飲因回酒炙授行觴者坐

者不知其味非人情也及侯景亂歸主爵汲黯為一都尉拜淮南

折人之無等齊無等齊無等齊無等齊無等齊無等齊無等齊無等齊

裴度罰罰願上度笑而飲因互見由神雀漢宣少雀奸一名佳賓

家語黃口小抱扑方不能抵一鷹雁南大相府黃霸參為一飲欲

奏聞帝四年孔雀尾初春生四月後即凋華俱榮衰自喜其尾欲棲

集長樂宮因改元孔雀必先擇置尾取取其尾者持刀於叢草間同過急斷

其尾若不即斷回首一顧金翠無復光彩矣因雷而孕羅翅孔子家禽見

揚梅高祖皇后竇氏父毅曰此女有奇相何可妄與人登二一耳間請昏

者射之高祖最後射各中一目黃雀亦名佳賓吳王欲重刑諫者死舍人

演示時新羅猷一解舞名登黃雀曰園有蟬悲鳴飲露不知蟬蝦在其

後蟬蝦不知一之在後臣執彈丸欲取黃雀不意露沾衣如此皆

務欲得其所顧其後吳乃龍與神鵲事同詳鵲楊宅行華山見一

環一雙振曰好掌此環累世為三公後王祥後母朱氏病欲得子炙令

祥捕之祥思念卒難致有數十一青雀黃雀之船金雀上航稜而搏

飛入幕中披綿黃雀護多脂一青雀魏武遺帝宮妓胡望登一硯詳

銅雀長安西陵後人因作一鳴則五穀熟黃雀魏武遺帝宮妓胡望登一硯詳

困雀式兒寬以鳴漸之知更雀自初更有至漏及則急鳴呼為一

却火雀順宗時拘強國貢置於火中火五色雀崔信明五月五日生有

必文彩名但雀形既小祿位不高果然三足雀梁夏侯詳父墓側有

太守群雀楊宣為河西一行縣一鳴桑間宣曰前有覆獄樹萬雀媿尚

史有罪繫一萬雀集獄棘一上鳴高曰雀爵明珠彈雀貴不當也門可羅雀

命之祥我其復故官也果然陳留曹蕪傳明珠彈雀貴不當也門可羅雀

前翟公為廷府賓客填一龍雀赫連勃造剛刀為一龍雀周太祖少一

及廢門外一設雀一詳客龍雀大鐵号大夏一龍雀其頸為飛雀

世謂一○**瓶雀** 國王機惟危有七女第二女字須臾摩游一聞言雀在瓶
兒面吳傳○**瓶雀** 中復蓋其口不能出飛今十已破一飛而去七女經又七
賢女得曰雀來入瓶中羅殿掩一飛穿一飛去一燭火不熄亦作燭記
識神隨業走大士善惠錄兩手欲遮一裏一燭
少儀抗燭抱一○**嚼** 在爵切莊白馬 咀嚼一芝英饒嚼看人取卿相妄
注未焚曰一也 齒黃金勒 咀嚼一相如傳 饒嚼意亦一俗
惡嚼一嚼腥 嚼復嚼末諺曰云云一今尚可後非饒後五行志
也嚼門大嚼 曹子建曰過一而一 對此君大嚼若一仍一卅
也嚼七雀切一名飛駭博物志巢開 乾嚼一知來而不知往知來歲多風
北嚼口背太歲亦噬賦鳥一南飛 乾嚼一則於下枝而不知童子探其卵
淮南互 木嚼公輸削竹木為一嚼 金印嚼張翥為梁州山鳥飛翔化圓石類
見往 木嚼成飛三日不下墨子 金印嚼推破之得一文曰忠孝侯印史
傳救嚼正觀中黎景逸居空青山鶴巢於庭以食與之甚馴後景逸被一
素襟人說三日必至 填河嚼鳥一成橋 街梁嚼雀圓相公妻在家時
乃嚼一之也廟野食載 填河嚼女淮南 街梁嚼與姊妹見二嚼營巢
見嚼上梁必貴 咀 捕堂嚼 莊周遊乎雕陵之樊賭異嚼挑彈而留去聲
見嚼上梁必貴 咀 捕堂嚼 莊周遊乎雕陵之樊賭異嚼挑彈而留去聲

賢而搏之見得而忘其形異鶴從而利之見利而忘
其志莊周捐彈而走 荆山木與黃雀事同詳雀 占聞嚼 寒求洛與張子
於庭樹圍而墮子信曰 玉抵嚼 崑山之下以一 借 宋良犬名亦
言不差且富有口舌事詳 玉抵嚼 崑山之下以一 借 宋良犬名亦
色 人名 衛 嘍 極虛切笑也 嘍 乙骨及大笑也 諛 善親交獻
朝 吟嘍 讀書有休暇得 嘍 會錢飲酒 嘍 口上曰一 口下曰一
獲 縛縛切兩變也 楚辭 求集一之所 獲 作姿態也 江南 縛 符鑿切
後崔蒙文協準一之止受 獲 謂山東謂一 縛 季 瑟切
元濟 急縛 益虎憑其感往 遭一 獲 兩三後惟見其面 束縛 其
毫載穎而婦聚其族 繩 唐王珂鎮河中朱全忠行 獲 敬曰王珂侮慢我
而加一 焉毛穎傳 繩 爾持一 之史呂布降曹操布謂劉備曰 縛
我急不可一 釋縛 武王親一其一 赤手縛 邈來結字穩且勻徑 下縛 卓
言邪詳急 釋縛 韓信釋左車之縛 赤手縛 邈來結字穩且勻徑 下縛 卓
至一向為掌酒 虎不足 縛 營酷吏吉温曰若遇知已 腰膺三縛 善醫伊萊穆
者所縛 詳 虎不足 縛 營酷吏吉温曰若遇知已 腰膺三縛 善醫伊萊穆
自一至一似有 僧如三劑初服上 解降王縛 蒐兵四一 佛縛
縛即解次服中縛解又服三縛悉除 國 解降王縛 蒐兵四一 佛縛

儒服詞長松 律縛 恭公律師持 菩薩縛 負着禪味是一無縛 四祖札三

鮮脫三祖曰雅縛汝曰一師 如蚤自縛 志公坐禪 縛瓜持也

烏攬 魯道旁 其 蘇脫化為白 以瓜 縛 脚取曰攬以翼取曰

攬 左右攬 韓魏相爭子洪子見韓侯曰令使天下書銘於君之前曰

重於天下也韓之輕於天下亦遠矣相漆王稿 呀且攬 狗虎團成 窮則

攬 獸 詳劣 擊 雙 左右雙 雙 母猴又曰大猿 雙 雙 雙 雙 雙

切狂塵滿荷 鞭先著 祖生先我 著 著 著 著 著 著 著 著

生喫著 劉子儀謂王所公 著 著 著 著 著 著 著 著

地著 理民之道 為本故必建 白著 劉晏時稅外橫取 沉著 快詳快 住著

冠肩皓首 切忌道著 寧山禪師云智不到 雙 雙 雙 雙 雙 雙 雙 雙

無一 杜 切忌道著 寧山禪師云智不到 雙 雙 雙 雙 雙 雙 雙 雙

切詩 浪笑傲 使其愛護 匪我言耄亦用 善 善 善 善 善 善 善 善

相 徒落切 鈴軍法司馬執 號今之限度金 金 鐸 見 木 鐸 孟春道

子 狷於路 牛 鐸 晉荀勗路逢趙賈人 則諧其 識其 乃掌 崇 占 風 鐸 陽 官

於竹林內懸碎玉各一 驅 山 鐸 海上漁人得一鐸 聲如霹靂 識 黃 鐘 鐸 後

長孫紹遠司樂 不調偶聞淨 耳鳴 鐸 晉石勒為人耕 聞 鐸 鐸 之 聲 以

利 陽 澤 水 結 瑟 冬 度 度 度 度 度 度 度 度

傳 諭 同 臆 度 世 事 仍 裁 度 尺 謂 之 吏 小 度 予 荒 度 功 盡

大 工 度 山 有 木 則 鍊 秤 寸 度 而 之 至 丈 必 過 視 乘 傳 澤 格 星

賦 建 格 之 脩 羊 注 氣 莫 公 一 拜 拜 拜 拜 拜 拜 拜 拜

如 火 狀 格 胡 各 反 莫 公 一 拜 拜 拜 拜 拜 拜 拜 拜

除 君 之 憂 獨 與 道 遊 於 之 國 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

泗 山 木 莫 无 也 如 曰 无 何 有 之 鄉 廣 莫 之 野 曠 遠 兒 侏 莫 陳 騷 雜 識 云

一氏之非橘中樂梁紀少瑜為一知魚樂唐昭宗曰

非我何以我不知一之詳魚生處樂唐昭宗曰山頭凍死五代謝康

樂靈運裴封康茶公後東平王啓期三樂鼓琴而歌曰天生

萬物吾得為人一樂也又得為男二樂也人生有不能繼繼者吾

年九十五矣一也貧者士之常死者人之終當何憂哉家語行實安

郡康節所居曰安樂窩洛中十餘家如安樂窩起屋以待其來謂之註書

一其歡一為僕射不樂李元忠云一詳射為御史不樂唐陽嶠一揚再

不樂者固古之以神難進抑躁求也無車公不樂車胤知名于世苦於

不在皆云一顧公使人不樂吳顧雅不飲酒言語權無飲不世界

樂佛土有一一苦十惡道故詩成王也駱馬黃白色黑鬣尾者詩

驚駭物中將一之閑人牽馬反顧一鳴似知去而旋返者素聞馬嘶慘然

立且拜姚恋有四駱乘其一一廬駱王楊一四詳後嚴駱一詳見姓氏下

姓氏內黃商音齊太公之後有子駱以王父字為氏三國兵人有文武

才字旗門陳文帝引為將帥勇冠眾軍南史七歲能詩

代徐溫為吳相軍旅問嚴可求用問駱知祥五託孟序一之空言

托非青蠅託尾端尚許鳥有託一不敢屬託尹翁歸拜東海太守廷尉

曰此賢將不索无底曰詩于一囊金索陸賈說尉陀令稱臣陀送

可干以私索核之一注用力枵索之賈以索中裝直千金後分

與五男各二百金與子約過青索蘇味直一持索張安世一簪筆以備

以盛書簪筆索劉調寺為之肉宜索宣子舍於醫索見錢為之大

張索宋母胡顯專權語曰淵材索彭一宋元豐間人喜游負一日

可竹一技歐公人名孔子師詳此析夜行所擊金析潘岳謂刀斗日擊析

五代史葉而已人名孔子師詳此析夜行所擊金析潘岳謂刀斗日擊析

魯之... 閣... 拓... 手推物... 比土... 恢拓... 疆...

開拓... 閣... 拓... 謂土為... 詳於恢拓... 疆...

不流釋... 閣... 拓... 謂入湯... 曰不... 籜... 籜... 籜...

而... 述而不... 閣... 拓... 謂孔子... 暮... 暮... 暮... 暮...

泥擘... 閣... 拓... 謂楚... 初... 為... 一... 佐... 郎... 激...

九原可作... 閣... 拓... 謂趙... 文... 子... 與... 叔... 觀... 乎... 曰... 死... 者... 如... 火... 爐... 頭... 作... 沈... 彬... 謂... 孫...

東作... 閣... 拓... 謂平... 秩... 居... 者... 不... 作... 香... 髮... 僂... 檀... 據... 姑... 臧... 宴... 群... 臣... 于... 宣...

託沈約... 閣... 拓... 謂沈... 約... 作... 梁... 張... 率... 幼... 為... 詩... 盧... 訥... 詁... 之... 率... 更...

精米... 閣... 拓... 謂精... 米... 也... 詳... 御... 丞... 食... 不... 一... 又... 鮮... 錯... 錯... 錯... 錯...

金錯... 閣... 拓... 謂金... 錯... 子... 而... 愁... 詩... 王... 奔... 鑄... 大... 錢... 造... 錯... 刀... 錢... 形... 如... 刀...

錯... 閣... 拓... 謂... 錯... 乃... 曰... 聚... 六... 州... 四... 十... 三... 縣... 錯... 打... 此... 由...

一之石錯... 閣... 拓... 謂石... 錯... 乃... 曰... 聚... 六... 州... 四... 十... 三... 縣... 錯... 打... 此... 由... 之... 錯... 也... 係... 也... 金... 錯... 錯... 錯...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂... 閣... 拓... 謂...

張湛曰人不可不詳言 嘗惡 越王勾踐為吳王 蠅惡如是青 矢矢前昌邑王傳 善不亦可乎詳言 主人惡 彭城之遊樂復來客樂 剛腸嫉惡 衛康絕交 疾惡 一言而善詳言 魏太祖曰荀令君之 不進不 甚美甚惡 叔向欲娶 直言 進善去惡 休荀軍師之 不去不止使 氏其母曰 必剛善剛惡 善柔惡通書 善善惡惡 郭公 不能去詳 我不 有 左昭九八 剛善剛惡 謝安謂王羲之曰 中年傷於哀樂共親 為惡 謂子曰使汝為 離別作惡 友 輒 數日 羲之曰年在桑榆 自然至此正賴絲竹陶寫常恐 雞鳴非惡 祖秋中夜聞 謂劉琨 元 兒輩竟損其權榮之趣 雞鳴非惡 祖秋中夜聞 謂劉琨 元 風 溪 將 聖 白善土也記親喪居 室後西城傳 藉 其 情味 相如 聖 留徐庶少為人報仇用聖突 鼻端聖 聖 人聖漫 則丹青 相如 聖 留徐庶少為人報仇用聖突 鼻端聖 聖 人聖漫 斷之尺 而畫壁加聖 玄覽師見寺壁 松及贊賦曰 泊 傍各切止也 不傷詳九畫壁加聖 何為芥吾 命 焉詳壁 泊 傍各切止也 之焉 澹泊人君以 為本賜雄付 伯 栢 白漁樵屢 浪泊 馬援曰吾在 相遭韓迭高閑上人 栢 白漁樵屢 浪泊 西里間下潦上霧

仰視飛鳥 風利不得泊 晉王濬伐吳至秣陵王濬要之論事 於泊 亦作 墮水中 詩焉 風利不得泊 晉王濬伐吳至秣陵王濬要之論事 於泊 亦作 薄更 絳侯 魚 浩 凌亂 蒙 迎 潮 碎 鴨 惟薄 不情 薄 門不施 薄 唐盧懷慎 織 賦 魚 浩 凌亂 蒙 迎 潮 碎 鴨 惟薄 不情 薄 門不施 薄 唐盧懷慎 風雨至 則 珠 勺 薄 薄 書外 四海往迫也 陽雷風相 叢薄 木口 李席 厚 薄 亦曰林薄 林薄 上 薄 知太祖謂 紹志大而 面薄 相温 其似 劉 酒 日薄 故曰 薄 亦曰林薄 林薄 上 薄 知太祖謂 紹志大而 面薄 相温 其似 劉 酒 說 亦曰林薄 林薄 上 薄 知太祖謂 紹志大而 面薄 相温 其似 劉 酒 薄 薄 而 邯鄲 園 詳 酒 回薄 方物 一 噴薄 水石相 缺薄 上 口結 薄 薄 而 邯鄲 園 詳 酒 回薄 方物 一 噴薄 水石相 缺薄 上 口結 反刻 輕薄 效 季良 不得 陷 為 天 丁 覆薄 水 官情 薄 秋光 都 似 一 持心 薄 後章 虎曰 忠孝 之人 持心 近 鄰 厚 君 薄 燭 之 武 日 之 淡 一 只 不 一 春 厚 鍛鍊 之 吏 一 近 一 史 鄰 厚 君 薄 燭 之 武 日 之 淡 一 只 不 一 春 姓氏 雁門 宮 音 風 俗 通 衛 賢 人 一 疑 薄 薄 一 萬 物 混 同 也 昆 盤 薄 宋 元 君 將 登 圖 衆 史 皆 至 一 史 後 至 僵 然 不 趨 受 揖 不 立 因 之 完 州 舍 視 之 則 解 衣 一 一 羸 君 曰 是 真 衣 者 也 謂 箕 坐 裸 體 問 定 兒 完 州 垣 縣 西 有 一 原 湯 於 此 誓 衆 故 春 秋 有 耿 一 之 命 郝 郝 各 德 與 師 書 三 一 阪 尹 注 一 人 婦 文 王 者 三 所 為 之 立 監 郝 郝 各 德 與 師

令威鶴

東華表杜忽有鶴集其上曰有鳥人丁一也蘇仙鶴公聯

升雲而去後有白一止郡城東北樓以瓜攬樓板似漆畫云城羊公鶴劉

郭是人民非三百甲子一來歸吾是公彈我何為神仙傳

洪中軍務之於康公既見坐之獨榻上與語不稱遂目劉千歲鶴於恨蓋松

寫一羊叔子稱鶴善客試驅來乃不肯弄我誠千歲鶴於恨蓋松

獨足鶴漢武時有獻一東方朔曰此中箭鶴為宗據中一

而逝益州有青城山道士徐佐卿一日忽不擇曰為飛矢所中尋已无恙然

箭非人間所有吾留於壁後年箭主至則射之及帝幸蜀偶至觀韻箭取而

斷之乃御箭也深異之法乘千鳥衛謫公報客鶴之則飛入雲霄通常返小

艇遊西湖寺有客至通所居一童子延客往羊鶴結在網入中昂之然小

坐開籠縱鶴良久通必掉小船歸羅談雞群鶴如野鶴之在會書郊

生鶴彭淵材行問客蓄兩鶴客至夸曰此仙禽也凡禽一此語生語未

淵材曰鶴亦改道吾乃為入鼓鶴有鶴飛一合中於飛去隴雙手

出錫嘉話所誤應客揮筆君子化鶴周穆王南征一軍化

鶴禮畢遣人尋之但見一鶴飛天而去

道人白鶴處鶴將至林麓忽聞空中飛錫聲祥錫入蜀龜鶴趙宋趙亦以匹

隨為政吹笙乘鶴周王子喬好一作鳳鳴後告其家曰七月七日待我於

簡易王太子晉也非淡燒琴焚鶴李義山殺風景事十三其一王子喬者周

明帝時飛昇王喬燒琴焚鶴懿公好鶴亡國房次律好琴得罪至死乃知

有理事亦自齊飛六鶴古者交歡多為博以牙飾箭長五寸其數六刻注酒

銅鶴韓王元嘉銅鶴尊皆上一則一人名詩人有日高花影重之句

招引根一牽一善睡獸如兔之質滑賦詩睡貉貉行十數步輒一擊竹聲

踏波駱橋踰淮而北為祝鸚鵡不踰濟一丘貉古與今猶一之類也

白也相如侍然白首○洞仲秋水始一海洞胡僧唱一水十泉洞於陸洋沫

栗溝澗也一皆盈其一文思洞唐李翰為一精密而思遲一在

壁一井而飲柳乞巧文一臣方心一則奏音集神逸乃屬文也

能入乎便記孟子傳 鑿心无天游則一相接一六情也本音造

鑿相公讀書輪扁釋一而問曰君之所 禹鑿 揭來游闈荒捫 鑿混沌死

穿鑿 唐文宗曰一之脩月鑿一 洋月夢人持巨鑿 尹知章一

經惡智為其鑿所一於一者 昨 陶詞今 活套 勝一晨一宛一

斯拔 維一之枝 又云即桐木 詩集于苞 醉 主答客曰酬客損主曰

收 萬壽 昨 後王霸子沮一 竹 竹索也益州有橋武紀 印一 博 孟守約

施 中庸溥一淵泉 後魏李琰之云崔博而不精刻一而不一我既

精窮愁博但把一 福寬博不受於一 人名 唐名滂洪黨人 烏集

搏 孟馮婦一虎 晉侯夢與楚子一 拊搏 形如小鼓 認明堂位注攬

搏 脚取曰一翼取曰一 童曰善搏 尹文子曰康衢長者字一 犬曰善

兩手自搏 吳章曜孫皓曜叩頭五 鑄 田器又鍾上橫 錢鑄 序乃一 詩

與鑄 非无一也夫人能為鑄也 燕非无函也 夫人能 人名 唐時為

博 局戲古者烏博 通作博 六博 籠箠象棊有 分曹並進猶相迫成棊而鷹呼

六棊言以篋落作 痛博 陶侃投參佐酒器 君知博 五代郭威討李守貞問

乎錢多則多勝 民訟擲博 唐高昌在越州 不視獄 與并公博 穆天子東

錢少則多敗 史 領博 或作博 肩甲 裴略曰非但着 亦乃着肚 詳 丞相博

後周耿豪謂周文曰 人言李穆蔡祐是 彈羊博 後魏孝文帝年十五 太

守受腕膊 後周孟信為趙平 政寬和山中老人以脚酒餽之 信和顏接

道姆獨有此餽 且食菜父欲為卿 一 尔 博 乾火 薄 迫也 道宋暑未

酒自育不能相費 老人大悅 拜摩脰進之 使 博 乾 薄 迫也 道宋暑未

日月一食又迫晚日 壯 語无宿 一 去其有 責詳 然諾 已 潘夫傳

已必唯諾必謹後定道為太守任功曹范滂人歌曰吐諾汾晉之也
呼左右云左右必劉義更南太守范滂孟博南陽宗資主吐諾汾晉之
云咄嗟而辦當作而辦金諾曹生曰楚諺曰得黃一斤不如得
間僕与足下皆楚人使僕游鳳尾諾齊江夏王鋒五歲高帝使李一即
揚足下名於天下顧不美乎鳳尾諾工帝大悅以玉棋麟賜之使諸侯箋奏
皆批曰諾而草書閉眼諾宋胡母輔專權奏无不可語曰禾絹一千人諾趙
若一形唐紀閉眼諾一胡母大張索嗣帝細禾絹一謂上也千人諾趙
見商鞅曰羊之皮不如一狐之折腰諾平生白眼人今刺史大諾梁陳伯
腋一之諾不如一士之使折腰諾日一游楚引上殿不習儀武帝令
州一不識書得文牒太守大諾侍中贊引呼隴西太守前楚不竟一應稱
碎於惟作一而已太守大諾侍中贊引呼隴西太守前楚不竟一應稱
帝笑呼庚癸則諾谷百山一洋癸讀父書應諾顧愷一每一雨佳虛郭切
勞之使呼庚癸則諾谷百山一洋癸讀父書應諾顧愷一每一雨佳虛郭切
入店一衛一伊一太原羽音周文王第六子叔之後今河東有
二山也一衛一伊一太原羽音周文王第六子叔之後今河東有
斬首虜十餘万級封狼居山禪於姑衍不李孫吳兵法封冠軍侯弟光一
字子孟河東人白皆流眉美髯髯天下想聞風采擁昭立宣秉政二十年贊
拜不名封博陸侯一字叔智有誣舅宗光者潛年十五奏此於梁商得免
由是顯名理出黨人范滂等一宋宗寧中吐元迂中書舍人一

建炎中知懷霍不採子路食負米詩米場霍食我一鹿霍昌曼
州死節名霍不採子路食負米詩米場霍食我一鹿霍昌曼
者名一又名一葵霍若一之傾肉如霍視酒如漿視一揮手反覆也搖手
黃斤不雅葵霍若一之傾肉如霍視酒如漿視一揮手反覆也搖手
○郭古博切孟一東郭一魏海內一狡吏詳克一先生南郭生不第而
食祿王曰寡人欲一西郭杜甫一院花北郭楚聘一先生婦曰結駟
吹之南郭乃逃詳年西郭溪作草堂詳溪北郭楚聘一先生婦曰結駟
聘詳一快郭郭者何一也公羊月郭月始生則血氣始精衛氣始行一滿
妻一快郭郭者何一也公羊月郭月始生則血氣始精衛氣始行一滿
氣去一錢郭景王鑄大皆有郭蘇秦曰吾若有一二頃田出郭持一相扶
素問一壺一赤郭南方有人長七尺朱衣編帶赤蛇透項惟食一出郭持相扶
漿迎一壺一赤郭南方有人長七尺朱衣編帶赤蛇透項惟食一出郭持相扶
○李郭光弼子儀一萬物郭天地之為一五舞之為一說一送不出
陳蕃為豫章太守徵為一以彭為郭一謂彭一郭一姓一周文王弟
尚書令一者一許一一一以彭為郭一謂彭一郭一姓一周文王弟
魏叔封號或曰郭公一之轉也因氏一一燕昭王築宮師事之詳始一字
喬卿拜荊州刺史賜三公服一黻冕旒勅行部去一權惟使一百姓見容服以彰

有德... 持節... 河潤... 橫... 之術... 萬... 終始... 生... 儀... 尋... 振... 陳... 山... 一... 孟... 一... 蒙... 字...
有德... 持節... 河潤... 橫... 之術... 萬... 終始... 生... 儀... 尋... 振... 陳... 山... 一... 孟... 一... 蒙... 字...
有德... 持節... 河潤... 橫... 之術... 萬... 終始... 生... 儀... 尋... 振... 陳... 山... 一... 孟... 一... 蒙... 字...
有德... 持節... 河潤... 橫... 之術... 萬... 終始... 生... 儀... 尋... 振... 陳... 山... 一... 孟... 一... 蒙... 字...
有德... 持節... 河潤... 橫... 之術... 萬... 終始... 生... 儀... 尋... 振... 陳... 山... 一... 孟... 一... 蒙... 字...

王君... 日... 江... 一... 獲... 稔... 鑊... 湯... 切... 神... 亦... 而...
王君... 日... 江... 一... 獲... 稔... 鑊... 湯... 切... 神... 亦... 而...
王君... 日... 江... 一... 獲... 稔... 鑊... 湯... 切... 神... 亦... 而...
王君... 日... 江... 一... 獲... 稔... 鑊... 湯... 切... 神... 亦... 而...
王君... 日... 江... 一... 獲... 稔... 鑊... 湯... 切... 神... 亦... 而...

十一 陌 與麥音同用

陌莫白切南北為阡東西為一使秦廢綺陌行參一韓同宿九陌長

八街一制伍陌行杖者曰五百本一作一當也一陌也九陌安

伯者伯之名墊陌唐穆宗詔國用不足應兩稅等錢錢短陌十為陌五代

漢王章又戒陌紫一巷一長安一西一黃陌靜也待君婦陌似熊而

出蜀能食銅鉄祭天一屏焚象鼻犀目牛陌行功也距躍三百曲踊三又

呼五互見陌通作伯陌魏濟妻夢亡兒為陌行木作貉盧表陌凡祭

泰山伍伯陌祿衡不遂黃祖令五百將出陌大陌則引之門牆則

注師祭也於立表之處祭造陌有諸孔子之牆絃郭衛之音補莊老之

軍法者其神靈尤或曰黃帝陌有諸孔子之牆絃郭衛之音補莊老之

脩身九陌言周之所服國教如此陌行矣陌上馬陌左思陌義

謂既祭披其牲以散風陌又陌制諸死刑皆陌於陌裂其支体而殺之

張湯鼠堂下陌詳鼠陌始陌虎陌劫陌士陌毛陌相温鬚作陌蝟

坡春山陌鳴春禽陌猶陌腊陌肉陌也陌場陌重陌黎陌毛陌相温鬚作陌蝟

陌勝寒陌旁陌季冬命有司太雉陌於四方之門陌五陌郭從

陌思陌縮陌人陌何以用刑告者曰立釘也思陌縮陌日陌為陌告陌郭陌公陌格陌駒陌駒陌駒

陌野陌身陌白陌傍陌切陌時陌孝陌子陌繁陌犯陌殷陌人陌尚陌赤陌赤陌赤陌赤

陌還陌子陌之陌形陌子陌以陌鳴陌雁陌入陌間陌世陌在陌家陌有陌石陌上陌馬陌之陌下陌但陌上陌不陌必陌石陌一陌不

陌必陌馬陌龍陌泉陌水陌淳陌刀陌劍陌堅陌利陌故陌有陌論陌史陌蘇陌秦陌傳陌法陌又陌云陌公陌孫陌龍陌有陌泮

陌善陌為陌一陌異陌同陌之陌下陌夫陌一陌同陌異陌有陌厚陌无陌厚陌之陌察陌非陌不陌察陌也陌看陌修陌身陌不

陌日陌乎陌粹陌白陌天陌下陌无陌一陌之陌狐陌而陌南陌精陌白陌德陌圓陌山陌傳陌夷陌白陌抗陌不陌与陌俗

陌人陌交陌李陌筠陌曰陌安陌貧陌清陌白陌一陌而陌不陌飛陌白陌莖陌當陌見陌役陌人陌以陌聖陌帝陌謂陌蕭陌子陌雲陌曰

陌羸陌豈陌一陌而陌不陌義陌之陌曰陌白陌而陌不陌飛陌一陌之陌間陌在陌卿陌斟陌酌陌白陌一陌本陌帛陌各陌據陌本

陌之陌帝陌笑陌曰陌昔陌聞陌堯陌好陌碎陌鞏陌今陌見陌常陌侍陌登陌床陌白陌唐陌苗陌晉陌卿陌知陌還陌以陌張陌顛陌為

陌覆陌試陌顛陌持陌絇陌筆陌不陌成陌一陌私陌白陌諸陌道陌歲陌進陌闍陌兒陌号陌象陌白陌燕陌解陌味陌之陌美陌者

陌字陌人陌謂陌之陌一陌晉陌卿陌坐陌敗陌私陌白陌諸陌道陌歲陌進陌闍陌兒陌号陌象陌白陌燕陌解陌味陌之陌美陌者

陌字陌人陌謂陌之陌一陌晉陌卿陌坐陌敗陌私陌白陌諸陌道陌歲陌進陌闍陌兒陌号陌象陌白陌燕陌解陌味陌之陌美陌者

陌字陌人陌謂陌之陌一陌晉陌卿陌坐陌敗陌私陌白陌諸陌道陌歲陌進陌闍陌兒陌号陌象陌白陌燕陌解陌味陌之陌美陌者

乃一也 大帛 衛文公賜帛 漢文使人存問長老九十以上一帛
湘山野史 大帛 之冠也 賜帛 漢武一縣三老一五匹鄉三老孝弟力田帛
人三匹 漢宣一經寡孤獨高年一帛 宣帝凡五年 飛帛 唐高帝嘗為一帛
又作白詳 高年帛 見賜 澄水帛 同昌公主取一帛 以水蘸之 掛於南軒 滿
紅勒帛 才刺試官 刷以朱筆 橫抹之 謂之 一帛 後數年 換文 體易 名 輝
歐公 權為 裂裳帛 一帛 而與之 困注 示不相逆 耳詳 帶 帛 袖 全帛 城中 如 大 一
弟一 畫 畫 裂裳帛 一帛 而與之 困注 示不相逆 耳詳 帶 帛 袖 全帛 城中 如 大 一
聖垂名竹帛 功一於一 度史 應足 繫帛 書詳 為 魚腹丹帛 陳勝 以 丹帛
賣之 詳 魚 活套 五 姓氏 佛圖 澄 又 帛 海舟 也 晉 曰 唐 王 琳 傳
百 博 陌 切 詩 二 孟 或 相 十 書 建 官 准 上 周 官
何 缺 於 漢 東 坡 百 散 作 百 一 賦 流 輩 百 度 越 一 谷 賜 錢 百 韓 信 為 楚 王
為 德 不 竟 也 李 八 百 蜀 人 時 人 莫 知 其 名 年 八 百 歲 因 号 之 抱 朴 子 云 蜀
歲 翁 後 忽 不 知 所 在 神 仙

傳 蔡五百 梁南平王恪委江仲季蔡遠王臺卿度仲容並 臣 授 百 東方朔覆
曰 朔中 一 一 不中 臣 賜 靴 九 百 五代 和 凝 問 馮 道 曰 公 一 直 幾 何 馮 季 廢
帛 詳 上 聲 數 覆 射 寄 生 靴 九 百 左 足 曰 此 一 一 譏 和 性 褊 急 也 扁 田 廢
事 滿 百 陳 遵 為 公 府 掾 史 曰 出 醉 婦 曹 事 數 一 府 曹 白 尊 曰 陳 卿 今 日 以 某
之 除 吏 公 百 崔 祐 甫 至 德 以 來 官 賞 緣 素 祐 甫 人 生 不 滿 百 一 一 一 常
伯 詩 一 氏 吹 填 和 汝 一 何 由 既 伯 伯 馬 祖 也 九 伯 五 侯 一 方 伯 連 率
伯 髮 如 漆 鄧 攸 以 一 全 姪 既 伯 伯 馬 祖 也 九 伯 五 侯 一 方 伯 連 率
伯 不 顧 謝 人 間 世 歡 伯 酒 為 一 一 除 屠 伯 漢 延 年 治 河 南 論 囚 流
苟 勝 事 黠 伯 唐 常 袞 為 相 世 謂 一 一 以 其 黠 然 无 賢 不 八 伯 兖 州 一 一 九
詳 墨 肖 之 辨 上 託 合 切 黑 也 又 見 下 達 伯 下 九 伯 兖 州 一 一 九
州 伯 詳 上 聲 長 少 室 伯 王 遠 知 曰 吾 不 得 白 日 文 章 伯 每 語 見 許 謚 風 伯
昌 黎 有 一 一 達 伯 認 伯 晉 人 任 達 好 酒 阮 放 為 宏 伯 蔡 鑒 為 方 伯 胡 毋 輔 之
一 文 言 早 也 為 一 一 十 廢 為 裁 伯 蔡 讓 為 一 一 阮 孚 為 誕 伯 劉 綬
為 委 伯 羊 曼 為 黠 伯 猾 伯 瑣 伯 晉 江 最 能 食 為 穀 伯 史 疇 大 肥 為 弄 伯 張 嶷
号 兖 州 八 伯 羊 曼 傳 狡 妄 為 一 一 羊 賾 狼 矣 為 一 一 擬 古 四 凶 傳

博 晉大夫梁山崩晉
伯宗子

高下其手詳手
書荆州貞 詩
新甫之
○陸佃云樹柏性
泊柏 選海

子露為吳太宰 柏 堅有脂而香 黃冠師教田鴛食柏葉得道 泊柏 賦

一住小 御史柏 朱博府中列柏有 波也 御史柏 鳥數十棲其上 葉公柏 於庭至今民比甘棠 柏 倒生柏

大谷 一之 一与天奇 伐墓柏 唐韋陟為吏部尚書宗人 飲極柏 元日飲 其長地等其父 柏

詳 孔子廟柏 犯宋劉宋江夏王 恭恭悉伐取之 孔明廟柏 柯如青銅根如石 霜皮溜雨四十圍 鐵鎮二柏 桑道茂居有 二柏甚茂 曰木盛則土衰 土 色參天二千尺 樹

宜藥柏 痛父非命絕世且夕 解劍掛柏 事詳劍 鹿祀墓柏 唐褚无量 所植松柏无量 號曰忍死吾 庭前柏 意趙州云 一樹子傳 地理 桐

郡上圖形凌煙 有縱橫術王承宗叛 著柱舌下之 追 匡 不 編

唐開元中李士杜甫題其山居云 山居精典籍 文雅涉風騷 追 匡 不 編

迫 二雅 一 徒相 試以急道 謝安 表宏 一 窮詳 窮

元委蛇 榆景迫 孟 謝 故贈以窮詳 窮 窮

既 斲也 井 劇 奇逆切劇 一 又 華劇 唐王丘更履 一 惡劇 山靈莫 一

足賭破 治劇 漢尹賞有 一 之 戀劇 隋蘇威為太子少保深毗為御 難劇 山

云作詩如作 一 臨了須 折祀劇 妾髮初覆額 一 活套 朝 姓 史有 隱 若 一

敵國 殺蠟 既字祖約好財乎好殺同是累而未判得失有詣約者正見 祥 料財物客至屏當不 餘 餘 兩小簾 著背後傾身障後 一 未 能

平或詣字正自見 一 因嘆曰 一 生未 登山 殺 謝靈運 一 山陟嶺必造幽峻 知當着幾 兩殺神色開暢 勝負始分 圓 登山 殺 謝靈運 一 山陟嶺必造幽峻

其後 喜折殺 謝安聞姪玄破符堅過戶限 孔子殺 頭 一 一 等 等 焚焉 顯 華 齒

劉父穿殺 一 常 一 破衣聞韓愈 道暉大殺 北齊宗 一 一 李為儒宗好 接天下士步歸之 層本傳 著高翹帽 一 一 州將初臨

穉服以渴語曰 顯公鍾宋公鼓 宗道暉殺李洛姬肚 謂之四大隣人 認殺 齊沈麟士 一 一 其所著 一 麟士 殺送前日 殺還 麟士曰 客蓋而殺 崔園室 臨霖 淖則 任才 續 殺 謝玄 任才 錄 非卿 殺 邪笑 受之 因

見其**猩**豈殺一飲醉取殺着之乃為人所禽詳程山三十年後之為少
任高帝鎮東府時帝取其殺視斷處以芒接玩之曰昔
已一帝賜新不受曰昔嘗散馬復不可遺使**雙****戟**劇
切一長丈六尺廣寸有半双枝為一單枝為**畫戟**韓休語子曰楊將軍不數
戈典畧周有雍狐之亦作棘記**棘**棘
將軍遠矣楊素也長戟王濬嘗起宅門前路廣數十步曰**祭戟**一造臨
有衣崔琳与弟太子詹事珪光祿執戟韓信曰臣事項王射戟表術將
之一三戟卿瑤具列榮戟号崔家執戟位不過射戟統天攻
劉備吕布救之謂靈曰布不喜合圍但喜解圍觀布射戟一禦公徒
中者各解兵不中可留决布一發正中戟支灵等罷去布傳倒戟
詳奪戟唐制三帛始立戟有垣為戶部侍郎以嘗任鈞戟招手今以為
為十二戟賈侯懷六韜家有一凡戟舞雙戟呂蒙舍會酒酣統以鈞
欲離起曰寧能獲古戟唐李齊物開砥柱通漕路舞如戟宋山陰公
回曰公鬚以身之因武庫牙戟鍾會如一詳庫八十斤戟魏典韋提反
何无丈夫意詳昇武庫牙戟但見一詳庫

索止戟切易探曠一隱陽大寒一救索唐裴延壽領度支時号**大索**裴娘
皇不中一八索上書九京索漢蘇武索陽一間後紀一有魚韋索
十日不得困八索上書九京索漢蘇武索陽一間後紀一有魚韋索
如君言不如口索象罔索得使一得之詳珠再索三索巽一索而得男
坎再索而得男罔一而得女良結索思一恐懼也易械墮藩樹以
灑落天楓葉一柵編則戟切鄰柵睨一之莎柵昌黎與東野一一
荻花秋一柵編則戟切鄰柵睨一之莎柵昌黎與東野一一
寧縣李遠佩一鹿頭柵唐高宗文計蜀劉闢戰於一一
射石入鏃詳石鹿頭柵敗之關伏誅昌黎作聖德詩韓一一
地索如竟一一滄溟索一才暮底索恨一一一
衫袖一林除木也詩一惜聲也文一一一嘯一
斗宵一一林除木也詩一惜聲也文一一一嘯一
作來選客隙是通作卻頤和傳令將軍與臣有欲
難孤豚吓虎一隙是通作卻頤和傳令將軍與臣有欲
駒過隙人生猶騁六驥過隙李斯傳南山京侯張釋之曰使其中有可
駒過隙人生猶騁六驥過隙李斯傳南山京侯張釋之曰使其中有可

郤

姓氏

濟陰商音晉大夫一文生豹之生茂之生缺之生克之生錡代為

之敬如賈誼曰悅禮樂而敦詩書郤可也

帥趙衰曰悅禮樂而敦詩書郤可也

於蒨利仕蜀為巴丘守三國志

偉崗儻猶桂林一枝崑山片玉為左丞

額五陌切亦作頤西理一蔡城汾陽額郭

唐相良器王與見之曰亦額似一紅抹額

王面黑似頰平原殆能立功

梅點額上自後有梅花粧詳梅手加額

耳秀才額詳耳箭中額

一耳尤聰詳耳箭中額

宮中且亮白額周處殺白龍門點額

諫游岐史夢筆點額比齊十宣將受禪

龍音谷一在教令嚴也

又前天文酉日依一逆

喉下有鮮嬰之則死

龍掌逆

乃民之

目逆

父之妻

而送之

見之

辟

有賀詳進輕客

郎非一東坡和工子立女

婿曰一王乃蘇門壻也

珠即水客鄱陽山中有

人也

試一漾輕舟也

媿公子无忌封信陵君

湖為曹氏作一刺客

客元次山以不飲酒

晉卿又

至並其族也

洪有侍中

諡獻子

晉謀元

字廣基博多文

魏

父紹

維

有光

臨淮額

唐委師德為

監察御史高宗

慕士

吐蕃乃戴

士以

下出額

張審

詳箭

眉羊額

好廣

龍捧

額

唐劉

炳楚

龍

掌逆

乃民之

目逆

父之妻

而送之

見之

晉卿又

至並其族也

洪有侍中

諡獻子

晉謀元

字廣基博多文

魏

父紹

維

有光

臨淮額

唐委師德為

監察御史高宗

慕士

吐蕃乃戴

士以

下出額

張審

詳箭

眉羊額

好廣

龍捧

額

唐劉

炳楚

龍

掌逆

乃民之

目逆

父之妻

而送之

見之

禮魏志典客後魏張安世云周謂掌客秦蕭客主人一逐客李斯秦下公

輔客王珪少孤貧母李嘗曰兒必貴未知所與游者何人會玄珠履客趙平

使人於春申君欲奪楚弓劍室以珠玉飾之春申釣鯨客李白謂宰府板

君客三千餘人上客皆躡一趙使大慙史記李白謂宰府板上

李白翟公客為廷尉賓客填門及罷門外可設雀羅後復為廷尉客欲往

賤交情廉頗客免長平婦故里故去又復為將客復至頗曰客退

則夫比固其理五鹿客牢邪石邪一墻東客才劉子暈筆詩互見東座上客

孔融嘆曰江南客座中亦有邪一莫夜半客王莽為宰衡甄豐曰久入

出溫問左右曰頻疊此客謝安弱冠詣王蒙曰此不知是客孔明每至

床下德公初不令止司馬德操嘗詣德公值其上家德操徑入呼其妻子

作黍徐元直當來就我與德公談妻子皆羅奔走服役須臾德公還直入

相就一何識坐中客梁沈約為晉文惠太子家令宗武即位有一婢婢

不為生客子由作樓賢堂記僕為書之且欲與置驛招客詳驛事

客轄回詣半客實客甚眾聞雅拜少傳一雅者過一因敬客殘客梁張續

僕射與何敬容居權貴客輻輳有詣續李昉五客趙宋下一當五禽

雀曰南客鸚鵡毛仲無客唐一嫁女奏玄宗曰臣万事已備但未得客上

宜悉請第既而日中環至執酒四明狂客賀知章投秘書監厭客思客

謝忌飲不盡色稱腹疼而煇使自號一厭客思客病來

至今乃爛額為上客霍氏翁徐徐三上書輒報罷後霍氏誅滅告若皆

召福為郎何至作賓客宋孔士疏一弟東還輕重十餘然曰改董

微子來見祖因古押倚得劉无圻五格切本作那甲圻宜

舊也周頊及為妻唐末小人圻壽不一副甲圻宜

辭卦龜圻或如機線圻無條長詳錄中台圻星一後旋誅史十字

約至十

八十六

何曾蒸餅不圻
圻作一不食也
拍 普伯切一板晉魏之代有宋織善擊節以一板代

啄一鳥舌可引作穿
繩一停酒船詳麗
電震拍 唐王維有以按樂圖示者維曰此

有為虞美人曲則
堯拍拍 春風依流水一坡
春拍拍 都是

一六通一一中
亭始有拍詳存
左挹右拍 洪厓有詳存
紅記拍 張一享青歌姬樂工

其一矣
不受奚度拍 宋思倅奚顯慶主領人功皆虛時建康縣考因或用

兩互見娘
象一魄 馮精氣
月魄 風吹霜空一生一谷
花魄 鎖日春陰

元一之枯魄 蜀郤正曰朝為令
奪魄 原必有大谷入一之
生魄 死魄

也月輪郭无光之知朔後明一而
朝月 通作
珀 琥珀一名江珠

化色如血熱於布上拭吸得芥子者真也
鄧夫人傷臉
靈珀 微芥

以一省城痕更益其研詳獲琉璃鐘
赫 呼格切詩一入二聲
反予 翁赫 使者所過威權
渤海赫 晉歐陽建

名九州語曰下
也言魚始以梁國赫
就捕之狀以梁國赫
得曰一不噬誰為落毛也
餓麟不噬誰為落毛也

帶一知至
枝格 草樹混肴一相交更信
方格 朝廷重其一傳

削格 矣相格
筆格 趙宋錢思公珊瑚
子弟籍之公以資格
資格 典益惟限

易以竹剗
公禮格 郭林宗曰范孟博豈
攝提格 寅歲名
不置戰格 唐張仁愿為朔方總管祭三受降城

如一攝提格
骨角也記掩一埋齒
骨也記掩一埋齒

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

剗 破之名
宅 揚伯切孟五畝之一
詩其寃安一○成此一相詳相

召公既一五宅一流有三等大罪四裔次九州外次千里外也

直松樹子何以蓋一雪白清江紙將碧油透松作益棟時鋪紙便成

子宅魯恭王壞一舊上聞金晏子宅齊景公欲更一之曰隱士宅

其門曰一田游若一詳疾青松宅鮑溶贊曰一慶大宅王臺卿庾仲容

相一考工一上卷圖購佳宅馬周為御史遣人以一以一眾笑其无

日何不遂取武庫知一圖購佳宅貨他日自有佳宅直二百方周以聞詔有

直一靈仙窟宅杜一秋百萬買宅毒詳麟集錢買宅諸君子二十餘家

贈之與兄新宅晉裴指與物无忤嘗管別必買此宅段文昌江陵街側有大

上濯足言我作江陵節度一司空毀宅後魏長孫道生位一第宅卑

冠游魂漢比吾豈可安推道南宅大周瑜與孫策同年友善瑜一以州易

坐華美乃切責毀宅史推道南宅大周瑜與孫策同年友善瑜一以州易

宅齊武陵王曄武帝弟也出為江州帝求其宅給諸子曄曰先帝賜臣浮家

使宅唐張志和願為家賣宅齊庾果之接魏使問百姓那得一帖門

耳寸田尺宅一三冊田一活套一五侯一蛟龍一澤生龍蛇杜春水滿四一

七澤見雲夢山澤一有廊廡之志交中子後神高王湛薦之梓澤石崇金

漏澤兖州泗水縣東北一穴有五皆深一丈每麗澤一朋友講習易

竭澤孔子世家脂澤膚色一媿澤悅豫一荀札論上音晚蕪澤淳于

羅襦襟微一詩姓塗澤唐武后雖春秋高善自董澤來若昭性素一浮辭

猶潤釵澤馮衍妻如上一詳婢同澤治衣用漿也白澤帝於相山得一神

軒轅分一雲夢澤楚有七澤小者曰一在江南其中平土可耕作彭澤東

澤為一廣成澤桃崇曰臣少居一鴨大澤項羽一乘下澤一車

注在江南

詳毀礼車人為
車行澤者短載
常惠教使者言天子得鴈
足書言
焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

焉耳母汝而杯圖不能飲
焉一之氣存焉耳
與僧圖澤為友同至三峽見一孕婦錦襦負嬰而汲圖澤曰此其托身之所也後十二年一航州相見是夕卒而婦人生一子源如期至天竺忽聞川

論有牧童潭水呼源乃一也歌曰三生石上信精魂賞月吟風不要論情懷情人遠相訪此身雖異性常存歌畢奔袖而去表郊甘澤

得校詩人
鳥海不擇河
故多怨
而反之以為上客
儒雅綠飾法律号通明相
羅詳客
晉人篤行純素人有饋遺雖金使一无所受冠不敢犯四世有隱行号澤陽

武在某澤

手澤口澤

共飯不澤

君子之澤

五世而斬

五世而斬

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

先交後擇

蝗不食麥

後高武在齊末中

避盜刈麥

不言因令

助葬家麥

持去使

正曰東吳見故舊乎曰曼卿三喪未卒方滯丹陽時元郭元振無

可告者文正曰何不以麥舟與之堯夫曰已付之矣

勇走及奔馬如交游重信義遼東之役請

為前鋒仕隋位開府子孟才光祿大夫

能無絕

史記

川脈地以石為骨鳥草縮水脈後魏爾朱兆襲京邑人夢河

言知水淺如導焉遂策

馬涉渡直叩宮門

沙下伏流惟

以足跑地掘之必有水博物志

不待切脈

胡麥切孟終日不獲一

獲

古无奴婢被罪沒入官為奴婢獲者逃亡獲得為奴婢

一勝董之筭也

二獲王射一三容諸侯二獲二

張文淵夜有盜刈其麥者

棄麥而謝文淵自誓

之到家文

蒙括城堊

及兆至有行人

駝知泉脈

望色听声言病

又扁鵲事詳臧

絕筆一

高亮七縱七

畫

畫始八卦畫今汝一畫畫誰一此心畫傳千里之志者莫如善

形君子小人

指畫凡一於君前

見矣

刻畫

謀登空固如石

活矣

學畫

則畫被致穿詳被

靜

賦

楚撫叔曰致師者右入壘

一執訊或釋于李以

禮有

愜

皮擊

也又大指也

天十年

一戰青

梁陳次王定

一戰青

又上使御史一選注書一質責一於上前一湯一謀責一與其有一寧有一已怨一坐

責一周勃每召諸生說事東一鬼責一知天樂者无天怨无人非一塞責一公孫弘上書一恐病死无以

責一自責一隋柳靖子弟有過下惟一陳瑩中作責沈文以一更復自一文案責一宋

疾應以淡退求之未可以一加又多一箒一詩綠竹一易箒一曾子寢疾華童子

我未之能事也元起一一一其床一憤一覆曼謂之一赤憤一凡救日蝕

以助陽也一決疑要法一武吏常一一成其威也一後與服志一三捕吏上見者將過

皆服一光武純一杜維欄詩終日憎一一一在維有冠者也一空宅有怪或

居之中夜有一而介憤一陶侃如廁見一人朱衣一一一墨憤一晉大傅進賢兩

來乃若雄雞也一小憤一田文一更見高冠一一一者振一岸憤一奕在相温座一一一笑

味无異一投憤一齊下延之為上一虞令太守孟凱以一童子憤一未成人也一通典謝安

常日一投憤一齊下延之為上一虞令太守孟凱以一童子憤一未成人也一通典謝安

取憤一着帽進事一詳帽一便散穿憤一可一字子焉有憂韻一劉輿欲搆之而无迹

就換一十萬異因此可乘越於眾坐中問散一一一然已醉憤一機上乃以頭

就机穿取徐蒼云下官家有外兩千萬隨公所取輿於是乃服一晉書一一云尔

兩妾个受漢衣憤一東夷高勾麗漢時常從玄一噴一鳴也又爭言也左一有煩

萬祥姿受漢衣憤一東夷高勾麗漢時常從玄一噴一鳴也又爭言也左一有煩

跳浮嘆一嘆胡陌反一策一楚革切一聖策一則有一功一上策一周得一一一法得

大呼也嘆惜多言也一策一取二三一聖策一則有一功一上策一周得一一一法得

傳一下策一固出一一一詳奴一尹策一洪岳一錫策一秦繆夢天帝一天策一鷄之貴

傳一左傳一傳說一方策一布在一一一中一庸一與一冊一同一龜策一不能避劍腸之患一詳龜詹尹

端策拂一金策一振一一一之一鈴一杖策一一一軍門一敬策一庸人之御一駑馬傷吻一資身

策一韓信无一發十策一公孫弘諫築朔方上難弘一一一弘不得一一一治安策一賈捐一臧狄策一向

策一之一一一發十策一公孫弘諫築朔方上難弘一一一弘不得一一一治安策一賈捐一臧狄策一向

策一之一一一發十策一公孫弘諫築朔方上難弘一一一弘不得一一一治安策一賈捐一臧狄策一向

策一之一一一發十策一公孫弘諫築朔方上難弘一一一弘不得一一一治安策一賈捐一臧狄策一向

策一之一一一發十策一公孫弘諫築朔方上難弘一一一弘不得一一一治安策一賈捐一臧狄策一向

短說入都惟言詠墜馬策天空中榮陽公一子應幸及安至鳴珂
天下要惟此書後故曲見一姿色絕代生停驂
從者取之皆甚相慕其友曰此狹斜女李姓也生再往叩
冊 簡也長二尺 生則耀華名於玉階沒則勒 兔園冊 馮道本田家道
在後道行數步輒反顧贊問岳何為岳曰貫下 五王冊 唐王勣召五吏執
爾謂俚儒教田夫所誦者也道大怒刻岳傳 維旅等核加慶也法籍
核 太至必有不肖 青田核 烏孫國有 莫測其樹核大如五六斗
歌號青田壺酒 核之心應之 青田核 烏孫國有 莫測其樹核大如五六斗
古今注互見 醞 崑崙核 有二老人相問年一曰吾憶少時與盤古有中分
師食蟪蛄奔其核 食糞核 王質觀二童子暴與一物如棗核一之不飢
之下今與崑崙齊矣 食糞核 詳柯孟節後末人得仙道含 不食可至
五年 鑽李核 王安豐有好李一核 弗致核 食棗桃李 不離核 蘇子由自
除戶部侍郎晁无咎曰子由此除亦 王母桃核 西 遺漢武七 帝留
謂如果之粘 者詳家多乾字 王母桃核 西 遺漢武七 帝留

實何可待 愈疾桃核 王琮為王屋令念黃庭經六千遍入洞空遇東極真人
之醫物志 桃核 石曼卿通判海州山峻 核 大如數斗云磨服之 延年 王氏神仙傳
泥畏桃核 擲嶺上二歲花如錦 核 後禁則并 而不勝 覈
通作 亦作核 漢書 總核名 糠 糞 食 而肥 詳 嫂 慘 礮 飛 傳 深刻也 精
實 北山文 玄 於道流 糞 糞 食 而肥 詳 嫂 慘 礮 飛 傳 深刻也 精
覈論事極 勤 鳥之 三 羽 王次仲變篆為隸始皇召之 不至將殺之次仲化
墮與使者因 六 翮 翮 明 中 天 不 在 平 披 而 傳 戶 鳩 其 累 風 翮 一 九
號落翮山 列 六 翮 矣 馮 翮 見 翮 有 一 飛 則 冲 天 詳 藥 風 翮 一 九
鵬 翮 長 一 翮 馬 名 飛 翮 泰 良 一 詳 馬 雙 鶴 斂 翮 支 公 一 其 一 鶴 頤 翮 如 快
背為人作耳目近翮成當使飛去世 鐵所拜山 二 切 朝廷 羽 翮 唐文宗謂李程曰高飛之
說 翮 有 一 杜 翮 也 九 霄 一 隔 古 核 切 御 屏 一 坐 洋 氈 隔 一 出 俄 離 隔 宋 謝 瞻
勢 傾 朝 野 一 弱 水 隔 一 謝 自 然 入 海 欲 訪 萊 羣 師 一 道 士 笑 曰 僅 歲
庭 日 吾 不 忍 見 此 一 弱 水 隔 一 謝 自 然 入 海 欲 訪 萊 羣 師 一 道 士 笑 曰 僅 歲
月 隔 一 首 一 天 懸 橫 隔 青 陸 殿 與 沈 約 論 聲 韻 書 曰 一 人 之 隔 一 山 隔

若火下者 踏塵迹 圓如磨牛步 針線迹 裁縫或盡 杜重足一迹 更民一

步塵無迹 尤則則賜珠百珠有迹者 煎其飯食令牛輕 疾行無善迹 杖臯

故知一 長鄉淹澤首 溫雅 借 假也 至願 助焉 或作藉 益 音昔切

行語 一 有容色也 借 前高紀 從田橫 藉助兵入 益 音昔切

一 者 謙受 一 見天道 虧盈而 謙 又 州 商益 孔子曰 一日 益 音昔切

益 王儼 一 縣 三 刀 後 過 賣菜求益 侯霸 遣侯子道 奉書 徵嚴光

益 州 刺史 二 刀 州 字 也 許 刀 賈 柔 求 益 曰 君 少 素 凝 今 小 產 否 天 子 三

徵我 不見 况 大臣 乎 光 口 授 使 者 書 嫌 視 甄 何 益 孟 敏 曰 甄 已 破 矣 一 謙 四

益 道家 一 言 無 損 益 馬 周 論 事 元 一 文章 李 益 李 益 能 文 有 貴 家

李 益 因 語 錄 一 三 三 風 雷 一 君 子 以 見 善 則 行 有 過 則 改 初 九 利 用 為 大

享 子 帝 吉 六 二 一 之 用 凶 主 未 咎 自 亨 中 行 吉 公 用 主 六 四 中 行 告 公 從 利

用 為 依 迂 國 九 五 有 孚 惠 心 勿 問 元 吉 有 孚 惠 德 上 九 或 一 之 或 擊 之 立

恒 心 勿 名 辨 臣 馮 翊 商 音 本 舜 伯 益 不 滿 一 益 不 滿 一 益 不 滿 一 益 不 滿 一

○ 經 義 益 切 詩 會 同 有 一 畫 釋 我 琴 終 不 恥 无 一 亦 无 一 破 一 至 和

○ 經 義 同 則 一 注 審 度 也 捫 釋 无 一 亦 无 一 破 一 至 和

○ 經 義 同 則 一 注 審 度 也 捫 釋 无 一 亦 无 一 破 一 至 和

釋 傳 一 四 方 重 譯 越 裳 一 一 獻 白 維 前 西 域 傳 又 韞 譯 西 方 曰 似 一 北 方

語 者 驛 以 飛 驛 太 宗 伐 高 麗 命 太 子 留 鎮 因 捉 驛 唐 至 德 後 州 縣 取 富

上 音 隈 驛 以 飛 驛 太 宗 伐 高 麗 命 太 子 留 鎮 因 捉 驛 唐 至 德 後 州 縣 取 富

主 誓 述 謂 之 一 稅 外 橫 取 梅 驛 折 一 逢 一 鄭 驛 一 當 時 為 太 子 舍 人 五 日

謂 之 白 着 人 不 堪 命 剛 墨 梅 驛 折 一 逢 一 鄭 驛 一 當 時 為 太 子 舍 人 五 日

如 請 容 常 籌 驛 馬 師 嘗 駐 于 此 黃 華 驛 崔 慶 成 抵 一 一 夜 有 美 人 據 書

恐 不 徧 籌 驛 馬 師 嘗 駐 于 此 黃 華 驛 崔 慶 成 抵 一 一 夜 有 美 人 據 書

在 鳳 白 馬 驛 朱 全 忠 以 士 於 懼 驛 也 夷 驛 我 有 嘉 客 亦 驛 矣 一 按 誘

一 誘 在 前 官 掖 一 房 舍 也 西 掖 中 書 也 左 掖 宣 政 一 左 右 有 中 書 門 下

一 省 如 逢 掖 夫 子 一 詳 復 一 詳 復

一 右 一 逢 掖 夫 子 一 詳 復 一 詳 復

張一郡本匈奴
地疾武開之
不聞周舍之鄂
千金之裘非一
是以憂也史互見
風生腋
兩腋習之
清
燒斧挾於腋
就

被若採一使
液雲液揚州
却如酥
花前白酒傾
一
王

液方士鍊
新蜀古詞
金液南帝輸火精西
瓊液後夜流
一
玄液吳致誠而
一

遊液
靈液重
神液起
晉
鹽也
蠟液唐文宗夜
召柳公權
燭之
一

五液脾為
便液
融液
鐵
以火炸
燒兵人
滋液甘露
一
一

飛泉之
液
建章宮
便液
郭
朝
嘗
魏
元
液
出液
閩
俗
立
冬
後
遇
壬
日
為
一
至

見雨
心
注
心
不
定
也
四
牡
一
注
盛
也
方
言
一
鳥
突
發
祥
流
慶
一
乎
千
載
固
與
引
猶
言
蟬

絕不
能錫命諸侯
侯小雅
人名
與兵
亦
不
有
博
一
者
乎
口

夜靜
無
燭
婦
姑
遊
亦
慎
之
來
口
公
不
解
舟
同
行
舟
多
沉
溺
公
見
前
雙
日
某

相故當
奉告
爵有
名談
人名
晉人
識酒
是
水
詳
藝
亦
帝
暮
釋
孤

相
醉
日
醇
酒
數
揚
子
為
政
思
一
終
也
釋
祭
之
亦
易
易
十

又狂
失志
兒
碎
易
開
張
而
易
其
本
外
碎
音
僻
三
易
箸
人
掌
一
之
法

日婦
藏首
地
周
易
其
經
卦
床
頭
易
晉
王
湛
傳
兄
子
齊
見
一
周
一
問
叔

青目
不
解
易
讀
易
三
年
一
能
一
其
義
因
友
從
開
易
規
管
輅
從
郭
恩
讀
易
數

郭恩
一
研
朱
點
易
周
一
明
皇
六
丁
取
易
王
遠
知
善
易
作
易
十
五
卷
一
善

易
不
論
易
規
管
輅
何
曼
自
言
不
解
易
九
事
問
之
輅
九
事
皆
明
地
一
易
善
易

不
易
之
一
家
百
畝
一
休
一
歲
乃
復
種
一
休
一
歲
乃
復
種
此
度
地
居
民
也

姓 大原徵音 齊大夫易牙之後媿有一愷 **進** 字長 沙人少為

進士第一官至大理評事著文千餘篇 **射** 中廣知可 **射** 射中

元潭州有三元坊以此官至尚書 **射** 射中 **射** 射中

氣收藏不姑射貌 **射** 射中 **射** 射中

事詳雨 **射** 射中 **射** 射中

无角為蛇又有足是非守宮即蜥 **射** 射中 **射** 射中

大界 **射** 射中 **射** 射中

也左疆 **射** 射中 **射** 射中

彌天釋 **射** 射中 **射** 射中

以為佳 **射** 射中 **射** 射中

盧生入枕穴中 **射** 射中 **射** 射中

博才无 **射** 射中 **射** 射中

青霞抱水矣 **射** 射中 **射** 射中

名 名 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

取天下 **射** 射中 **射** 射中

孤六尺 孤六尺 **射** 射中 **射** 射中

好萬一尺 好萬一尺 **射** 射中 **射** 射中

越羅蜀錦 越羅蜀錦 **射** 射中 **射** 射中

富貴家尺 富貴家尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

割截都 割截都 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

尺 尺 **射** 射中 **射** 射中

儀曰一絲而一不至一不已遂一志公乃尺寶一禪師姓朱氏常執錫杖頭

於一累尺不已遂成丈疋詳赤鐵剪刀尺銅鑑或掛一兩尺帛

○**法套** 一擊二一復父離殺楚王詳雄赤

○**推** 一置人腹中南史其家一貧 大赤詳白又乾為一 至陽也忠赤下

○**志** 一之 眼前赤上何日一腰下幾時黃金也詳黃渭水赤 商君論四一 史記長

赤相溫一其似列吾族赤不知一跌將赤 奔虹赤唐太宗取回紇十驥有

亦好頭赤○赤鬚白足一迎 體露一斥大也拓也黠也又一候韓

百則一揮斥至人一八極例廣 陵斥西戎作河一 推斥四節相一冬

○**簡斥** 孟光曰夫子一數漏廣斥海濱一 東方斥斥鹵鹹地一謂一鳴

○**即斥** 立仗馬一活套 充○石 常隻切詩他山之 得玉羊蘇仙事詳辟書憲刻一勸

山功詳嘉石平罷民有罪 肺石達窮民孤獨老幼弗 底石爵祿者天下 隋石銀

寒泉一俱上音受石具而文石 弘成子有人授以一一吞之遂為通儒

長所以澄水不濁用之蒸茶 醉石陶淵明醉則卧射石 熊渠子夜行見履石以為伏

為各李梅福願一 醉石其上各一 射石虎一之沒金飲羽下視乃

復射矢韓外傳見其誠心金石為之開 虎一之沒金飲羽下視乃

○**拜石** 米華好和元為軍見立元頗奇喜曰此足以當吾 漱石一枕

石五星也○衡石 秦始皇一程書決事法石百二 詹石劉毅家无一一之

雍為一受一斗一云石斗石也詹者人所負詹 藥石唐高李輔上封事

進一一之言故惡石減孫曰李孫之愛我疾疾也孟孫之惡我 一也柱石

涑田延年謂霍光曰支機石 有人尋河源見婦人浣紗乃与一石爾爾 落星石星

水為石當望夫石武昌山北一貞婦送其夫徒役至 仇池石坡云僕所藏

彭易中望夫石此山立一其一死化為一 回統拔野古有一何斷松投之三年

王晉卿以小詩借觀意在於康干石 化為一色蒼節理猶在号一一孔

奪不敗不惜以此詩先之

王晉卿以小詩借觀意在於

奪不敗不惜以此詩先之

蔚林石 陸龜蒙門有巨石遠祖積為一守窮歸无
裝惟取一以重其船人号一隱逸傳松風石武宗時夫餘國

丈中有枯松盛夏楓一 壽昌石有窠元結 魏明帝鑄銅人二
涼廳生於其間 杯樽石 命曰一詳樽翁仲石 列於司馬門外号

三生石 曹煥遊嵩山遇老刘道士盤礴石上曰未嘗與人語謂煥曰
坐不語後果化於石上 佛地筆記貞到公石 梁一澹齋前有奇礪石武帝与

澤一上槽精魂亦此意邪 詳澤到公石 賭輸焉石即迎置華林園都人
号一補天石 女媧煉五色石上 今孤楚詩曰移石幾回敲廢印

羊化石 黃初平一詳天碎印石 唐貞外斤有大石堵州府納廢印皆於
石一詳水投石 臣言如提一寶燕石 宋惠人得燕石以為大藏以華

胡而 煮白石 焦先一食之或与人味如芋列仙傳 晉 陽石陰石 宜都郡
笑 鮑靚得道入海遇風飢甚一食之 則晴來求初李相能 中書盤石 薛元超轉一舍入省中有祖道衡為

太山越石 唐原為晉安一海邊有一王常 平泉樹石 李德裕一
則晴來求初李相能 中書盤石 薛元超轉一舍入省中有祖道衡為

今有監軍得平泉醴酒石德裕孫延古托全義領求之監軍曰自黃巢亂後
洛陽園宅无復能守豈獨平泉 一哉全義怒答殺之全義 奇章好石 乙丙丁為品第 唐人推一以甲

一古莫 攀波詩 穀城黃石 張良得北上老人一編書曰後十二年海神鞭石 三齊畧
作石橋欲過一看出外有八人驅 道磁石 賈負缺鐘行不得前大戰破

石下海石不速去神揮一之流血 之朽索懸石 盡公試費長房以 足蹶大石 唐李嗣業討勃律通靈葱
抵穿聲人以 笛聲裂石 笛怒猗抉石 徐浩草書如 栢生兩石 間力歲終

不大坡云 昌黎相石 落窠下石 今夫平居里巷相慕悅云云詳 命本如此 昌黎相石 落窠下石 臨小惠難僅如毛髮比及眼若不相識

而一不引手投擠之 石奮萬石 後秦彭与諸從同時為二千石者五人
亦号 任四千石 前吾壽王侍 才共一石 謝灵運云天下 挽弓兩

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

石一雨石一不如官六百石 蜀卻正一不過 故免於憂患便胡椒八

白石元載家 ○點頭石吳僧生公講經於虎丘寺人無信者乃 漸之

國刺幽王也荆舒不至恭勝敵祥恭 宋人便天清洋函姓氏 威

徵音 衛大夫石碣之後又石貽仲衛大夫生石祁子臣聞愛子教之

以義方君子曰石碣純臣也國 號方石君見乃石下子建慶書馬

字恐獲詳尾 以策數與祥策字君考為中書令 傾朝印累

累事詳中宗 字季倫起金谷別館作步障五十里字清川烏重胤鎮

河陽具書幣邀辟昌黎送赴河陽參序云後召為集賢校理州人 徐州

人敢毅善戰氣蓋軍中臨財廉朝廷賜與置軍門幽州 人有膽略新首

矢石太宗解金帶賜之昌 年十八幸進士老泉有選石昌言北使引

曼卿名延年死為仙主芙蓉城祥城石奮如能琴漢高帝召為美人

○郊休妻石氏有德碩 詩為組孔又庭碩 播厥百穀既儒碩 後漢

操為九族所重晉書 碩人 鼠德 庭碩且 詩直大也儒碩 後漢

季終疏又宗 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠 碩鼠

○達麼隻履携 起棺推隻履存焉祥履法套 鳳撫 羣言初

我華而不擲 撫蕭何 起棺推隻履存焉祥履法套 鳳撫 羣言初

食我實擲 撫蕭何 起棺推隻履存焉祥履法套 鳳撫 羣言初

也孟一 之徒也賈賦謂一 躑躅亦 作坎 雞跖 善李 者若 奇王 之食 必食

賈道 傳又 苦跋 盤足 足路 反戾 不可 行雞 跖善 李者 若奇 王之 食必 食

其集曰 一本 此後 蜜跖 陸佃 云蠟 者翰 音跖 熊之 掌祥 殘炙 勢絕 倫世

淳于一 探言 之燔 炙分 焚炙 良書 日炙 兩林 野炙 火初

智不 盡也 祥探 燔炙 分焚 炙良 書日 炙兩 林野 火初

擲切 直炙 蠶擲 李賀 歌詩 鯨味 牛鬼 蛇神 不足 為其 虛梭 擲流 年一 擲

五擲 官賭 安人 明帝 大會 新亭 樓主 擲精 金石 擲孫 綽作 天台 賦擲 地金 珠

擲切 直炙 蠶擲 李賀 歌詩 鯨味 牛鬼 蛇神 不足 為其 虛梭 擲流 年一 擲

劉毅 劉裕 於東 府一 活套 魚跳 躑足 也刺 七亦 切探 又鑿

祥一 判至 數百 萬互 見盧 活套 魚跳 躑足 也刺 七亦 切探 又鑿

祥一 判至 數百 萬互 見盧 活套 魚跳 躑足 也刺 七亦 切探 又鑿

祥一 判至 數百 萬互 見盧 活套 魚跳 躑足 也刺 七亦 切探 又鑿

人所最畏者... 文席... 孔席... 不瑤席... 前席... 孟前席... 賈誼文帝召
二飲食之間... 如荷荷請席何嚮... 滕席... 寶嬰與灌夫往賀嬰起為壽獨
神之本夜... 夫行酒至蚡... 曰不能滿... 側席... 塵席... 揚
故人避席餘半... 夫行酒至蚡... 曰不能滿... 側席... 塵席... 揚
觸夫怒因笑曰將軍貴人也畢之... 夫行酒至蚡... 曰不能滿... 側席... 塵席... 揚
疑一滿一淡... 避席... 三經席... 孔子於陳蔡坐... 三專席... 武帝特詔御史
如也... 避席... 三經席... 孔子於陳蔡坐... 三專席... 武帝特詔御史
尉尚書令會同... 戴憑重席... 徵為博士正旦令羣臣說經更相詰難義有不
專席坐号... 戴憑重席... 徵為博士正旦令羣臣說經更相詰難義有不
管寧割席... 寧與華歆讀書有乘軒冕者過門歆出看寧曰富貴也劉玄割席
祿帝羣臣列位低... 文仲販席... 不仁者三家... 客撤重席... 跪正席客跪撫
頭以手... 文仲販席... 不仁者三家... 客撤重席... 跪正席客跪撫
固辭客踐席乃坐... 賈壻設席... 後魏劉延明就郭瑀弟于五百人瑀有
一快一誰坐此者吾當妻焉延明... 花墜前席... 獨不就席... 立勺過師枕席
奮衣坐曰延明其人也遂妻之... 花墜前席... 獨不就席... 立勺過師枕席
趙充國信威千里如從枕席上... 寢與祿席... 梁柳慶遠從兄世隆曰吾昔
趙充國治橋七十所令可過鮮水... 寢與祿席... 梁柳慶遠從兄世隆曰吾昔

台司適又夢以吾揮席與汝... 舟掛... 安商音本姓籍晉大夫籍
必光我門... 初從開東... 席氏皆徙安定臨備... 安商音本姓籍晉大夫籍
改爲席氏... 初從開東... 席氏皆徙安定臨備... 安商音本姓籍晉大夫籍
輔政華代已入拜吏部侍郎典選六年... 安商音本姓籍晉大夫籍
嘗登朝元閣賦詩羣臣屬和帝以豫詩最上詔曰詩人之冠冕也... 安商音本姓籍晉大夫籍
君從以尚書司封郎中致仕與文富諸公寫著英會詳者... 安商音本姓籍晉大夫籍
喪山谷糾合... 左朝不謀... 壽匪朝伊... 尚書大傳曰歲之朝月
同志助之... 左朝不謀... 壽匪朝伊... 尚書大傳曰歲之朝月
一月之夕日之夕... 正月月夕四月為歲之朝五月... 尚書大傳曰歲之朝月
月夕八月歲之中九月月夕十二月為一之... 尚書大傳曰歲之朝月
將殺堅... 抑祀朝日... 子... 楚圍徐右尹... 尚書大傳曰歲之朝月
見曰朝暮見曰夕... 以諫也... 子... 楚圍徐右尹... 尚書大傳曰歲之朝月
並同上... 勞生苦... 短長... 牛羊夕... 晨與鳥鵲朝暮... 日出為... 尚書大傳曰歲之朝月
寫且... 暑... 寢... 長埋曰密長夜曰... 早曰... 尚書大傳曰歲之朝月
一詳且... 暑... 寢... 長埋曰密長夜曰... 早曰... 尚書大傳曰歲之朝月
疾... 秦普切... 魯肥杞... 二十九... 羊傳在二十年大... 與瘦韻通者... 尚書大傳曰歲之朝月
飢示捐也... 柴... 母... 使... 牛... 疾... 不... 尚書大傳曰歲之朝月

仙芝請預備從一素一又跋仙芝陋其貌會仙芝越秦肥瘠一人視一人

寓藏陸奚部界常清著作露布仙芝取讀大駭因越秦肥瘠一人視一人

堵也唐前地理志清河郡唐縣安籍籍中商一前江都王傳國中口

語一屬籍商鞅定法宗室非軍通籍宗室門各有禁非侍衛十一之臣不敢

者為一尺竹牒紀其年及名字物色懸宮門三縣黃高又崇元尺籍士年超

帝紀得為大父母父母兄弟紀其年紀名字物色懸之宮門也尺籍田中安

知一在符使唐唐傳謂書其斬首黃籍州縣城田公解田每六月以白簿

之功於一之板伍符伍人相承黃籍上尚書自覆實至十月輸送則有

一歲一場籍籍越多一抽歲有籍稅曰橙食籍世傳寒士有十一一生富

載籍躬覽一擊名籍人生行樂尔安不肯名籍其先亦君事項籍一死為侯

獨不奉詔一及拜名籍者為隸道士籍吳筠性高類請人名籍籍籍君

大夫而逐部君謂當時傳隸道士籍吳筠性高類請人名籍籍籍君

愈季古淡姓氏廣平商音晉文侯仇弟陽叔生伯鷹司晉典籍遂為籍

天子躬踐也籍籍狼一狼所卧草皆披辟也書大八辟以

耕一田田母一席籍籍又陸賈傳聲名一甚辟也書大八辟以

禮小言徒籍籍門易一闔一韓文一佛者溪關口勢一切流泉兒一

謂流一籍籍一以求帝閣籍籍一詳籍籍一送之亦作辟籍籍有標

役一戶邑死者數百人文章者力役有之征孟人役不仁不知典籍籍

報一之河陽役急應一也籍籍一形役心為一禾役一籍籍一東門役

遷延役晉人謂之一減年從役或增增賦賦或一命之日一籍籍一

川太守召為功曹衣服造役之衣杖鉗高斧而行曰門生被役晉王亮

役乃步擔乾飯兒負鼓草籬先生至縣門徒從者十餘人令以為詣已

出迎之哀曰門生為將所役故來送別因執手涕泣而去令即放之

書免役白晁中曰往美丹人寇家取排門夫吾以因詩放役唐任濟有露

書免役一縣為一今終身高卧豈易得哉因詩放役唐任濟有露

書免役一縣為一今終身高卧豈易得哉因詩放役唐任濟有露

書免役一縣為一今終身高卧豈易得哉因詩放役唐任濟有露

書免役一縣為一今終身高卧豈易得哉因詩放役唐任濟有露

船流之句李唐廉察以疾免役支國疏者高干頂
此西特效鄉役樹旨以疾免役支國疏者高干頂
欲歲役使吏以刻為明諺曰雷者一避大疫俱亡次兄毗復危
始父母諸弟皆出衣獨留不去曰衣性不畏病遂親自
扶持復哀臨不輟如是十有餘旬毗得瘥亦无恙
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯
○波濤前通者老壁郭晞從士卒為暴殺秀實取卒十七人住樂上聯

見後有徐氏女人求不得公求之徐氏以為狂戲云以白璧一双來當听為
昏公至所種石处得五双白璧以贖徐氏徐氏大驚遂妻之後名其地为玉
田復全璧趙得和氏璧秦昭王曰願以十五城易璧遣相如奉璧入秦相如
衝冠曰王必欲急臣頭與璧懷璧其罪子罕事見玉○重耳至
俱碎柱矣使人以璧扁趙史懷璧其罪子罕事見玉○重耳至
羈鎖盤旋置璧受冷亡璧楚相一門下張儀掠答不服謂妻街璧金
是為列錢西都付許拜當璧楚共王无嫡有寵子五人以璧見於群望曰當
男面一傳六

鹿皮蒼璧直數千而皮薦反四十万本末不相稱假道以璧晉以屈
垂棘之璧於詩書惟一作福九辟後鍾皓前後七辟晉王哀三
就明辟復子一鞭辟程子解子張書紳云孝要一辟寒能一人名因徐
辟求見○癖腹病又漏一傳癖杜預有左一為詩癖梁簡文帝自序
長而不倦然馬癖玉濟一錢癖和潘至富地癖唐李澄善殖庭田疇亦
傷於輕靡使馬癖同上詳沈錢癖和潘至富地癖唐李澄善殖庭田疇亦

癖吳衍斷飲阮宣歐其背曰看之
癖一癖疾忍斷盆中物邪詳物
癖一王家愛士癖唐揚放之類
癖何多邪章收之類玩人以爲癖
批僻相笑之間君道一唐路岩傳
批僻王政一唐路岩傳
射食亦切一物之一在此
射言一在去聲謂之不宿挽弩
謂卻說叱撻煩射大之手不能發
兩一衣碧初品官一唐高宗紀八
于鄭衣碧也裴寬一一人呼碧鶴
血碧任負流于江長弘死于蜀藏
出城一凝碧太宗宴天水碧李後
浸一影一青瑣一人名對故以碧
韻府羣玉卷之十九

韻府羣玉卷之二十

入聲

十二錫獨用

錫先擊切本皇臨賀產一詩如金
錫爾純嘏初筵一介圭蓋高又粉
積車長柄鑿尾詳車議其妻悍也
被一輸紉編字虛付一細飛錫游
不得着地錫見卓錫舒一潛山最
必掛於壁有錫上卓錫舒一潛山
而鶴先飛去至麓將止忽聞空中
遂各以所識築室焉室積寺无水
大師碑一飛錫之竟師詣曹溪接
駭散一飛錫携一遠相三匝傳內
兩軍繞床振錫是宗宗旨石頭云
仰觀繞床振錫是宗宗旨石頭云
蚺蜥一蚺蜥而用陳軫傳指甲徒
淞玉吹香鞭接淞而行

數奄王降兩時擊醜首羅 曹漢一滴僧問雲門如何是 水傳如 六祖也 活套

空階 橋屋 箭 子也 嫡 正也 時有 一不以其 踏 蹄也 商 根

老淚 果蒂皆曰 弔 至也 畫 檄 於指上 磨墨作 一司馬相如 諭巴蜀

羽激 激有急事即掉以雞 一府檄 檄見捧 檄天下可 一投檄 趙宋張宗

去錄 掛檄 梁劉訂刺史張稷辟為主簿以 七紙檄 北齊魏收文衰以侯景叛

而成就 又檄梁朝令送景初夜 北山檄 只恐先移 愈頭風 檄 陳琳草檄曹

親屈 毛義捧檄 顏色奉心 賊之後母死公車 檄不至奉 笑曰往日之喜乃為

也 國馬 衣檄 唐薛收在秦王府嘗 母窺章檄 何无忌等合謀討和友夜於

之曰汝能如此 糧 不可 檄 唐穆寧轉監 鐵轉運李光弼檄取資 一與光弼

盜留囊中檄 唐楊君恩 一竊其衣囊再思曰苦貧至此 觀 女曰巫 檄

子 敦 的 鴉 五歷切 一鳥雄鳴 一風鳴 下 六 鷄 一 退飛 過 文

鴉 鴉 舟也 亦 鴉 西 馳 宜 曲 一 牛 首 電 雌 虹 沈 約 製 郊 居 賦 示

益 曰 益 鴉 相 如 刑 濯 益 一 直 孝 切 舟 也 王 林 付 電 雌 虹 沈 約 製 郊 居 賦 示

掌 欣 拊 曰 僕 常 鶩 絞 草 冠 印 鶩 吐 綬 鳥 船 江 東 人 船 前 益 青 活 套 文

登 秋 徒 歷 切 赤 一 本 金 狄 媿 明 帝 徙 長 安 一 露 燕 銅 狄 菊 子 訓 與 一 老

日 適 見 韓 此 已 近 姓 氏 天 水 徵 音 周 成 封 少 子 於 一 城 一 氏 魯 大 夫 有 一 山

五百歲 獲 神 記 姓 氏 天 水 徵 音 周 成 封 少 子 於 一 城 一 氏 魯 大 夫 有 一 山

本 林 為 倉 海 遺 珠 武 右 擗 神 器 一 蒙 恥 奮 忠 引 張 柬 之 等 卒 復 唐 室 頌 曰

取 日 應 一 洗 光 咸 地 俯 投 五 結 之 以 色 望 雲 思 親 事 詳 雲 蘭 仁 基 美 其

詭 曰 此 斗 以 南 一 人 而 已 仁 傑 薦 一 北 嗣 為 尚 書 郎 稱 取 武 后 曰 許

案 內 幸 果 得 人 謙 謙 字 汝 諧 仁 傑 孫 剛 正 有 祖 風 歷 三 州 刺 史 許 海 史 中

白 居 易 香 山 九 老 兼 謨 亦 與 焉 字 宏 巨 汾 州 人 勇 於 臨 敵 常 為 先

鋒 二 十 五 戰 中 流 矢 者 八 每 戰 節 以 劍 一 任 齊 中 言 人 參 掌 樞 密

而 敵 人 望 之 如 神 大 敗 僂 智 高 廷 樞 密 一 任 齊 中 言 人 參 掌 樞 密

庫 一 一 艘 直 少 言 媿 為 定 州 刺 史 清 約 自 居 一 任 齊 中 言 人 參 掌 樞 密

累 迂 幽 州 刺 史 一 隋 具 州 刺 史 清 苦 不 受 私 謁 法 令 嚴 肅 道 不 拾 遺

吹笛試為一奏伊已貴顯素聞徽之名便下車據胡床李年吹笛天
為作三調弄畢上車去主客不交一言伊小字野王裂石笛下第一月夜
泛舟吹笛寥亮俄而客呼船共載請為吹之
其声精壯山石可一疑客乃蛟龍也國史補
問曰何故吹寧王笛明皇與兄弟同處妃子切寧王玉笛張祐詩云
一工驚謝更吹寧王笛小穆靜院無人見閑把一玉一吹因此符首實
同列吹笛唐盧坦為節度使判官有善笛者詣帥請為重賦坦曰
兒好與買吹他歷切遠也書一矣西土之人或作場
擊擗則切韓地羅一也擗發也挑也前趙廣洪傳發好一伏亦作
揚趨時出靈佑賜劍爭執酌无踢字惟十陽韵收乃唐字惕
三休一若傲或作憊績則歷切維也詩八月載一又績毋自績文伯
退朝其一方一文伯日以傲之家而主猶績乎其母嘆合燭夜績音女徐
口魯其亡乎隋却善果位居三品一崔恒一紡一更
李吾一徐女燭不餘光詳也膏照方績嬾婦一以一則暗詳膏一不知織績原太守俗一

臥定乃教之更
考績三載人名
飯自煎與紗帽龍頭
百種須索睡時不肯
睡千般計校傳灯承
持千般計校傳灯承
水腰千以不
去之遂溺死
溺於民皆在其
所獲也記繼衣
寂綠陰生
寂一韋應物
寂一山中苦
寂一王融自恃門地望為內輔及為中
寂一顧愷之令山陰
寂一禪寂身猶縛
寂一圓寂僧亡日
寂一亦
寂一莫狄切詩尋
寂一祖一心了不可得詳心談笑竟封侯在坐自竟
二祖一心了不可得詳心談笑竟封侯在坐自竟

○騎驢養驢者神有二病一是一是二是一門外覓車不知坐却白車更

湘江羅垣館宮室羅垣也禮人堂恭祭祭祀以布

○壁瓦浦歷切金甃南蠻驛國以文甃一雕甃甃俗為廣州刺史

方致力中原過介復避甃唐謝必黜落李子其規懷甃伺其出必知投史館

以一擊飛甃魏馬鈞自德衡有巧思作一輪懸大石數十以機鼓輪則石

中唐甃一有道在甃東郭子問於莊子曰惡乎在曰在螻蟻曰

言道無所不在莊子曰在屎溺孝女抵甃甃一字無忌父為鄉人衛長則

無忌以殺之詣壁陶然指血東壁日在一月令一星主文

吏就刑太宗免罪壁趙壁韓信曰見我走空一逐

空壁見壁大曆中玄奘見禪師往荆州陟此張壁公壁壁古松待書藏

壁先入用嚴其家於屋壁厚秦禁書生壁之儒林傳校掛壁陶侃

龍詳尤化為鴉棲壁平生痛飲遺雲色壁寫向君家亞夫堅壁吳楚反一

昌邑一而守巨衡繫壁引光讀書鄰一入韓信壁高祖自稱使者長馳張

齊王信壁奪其軍丹崖青壁晉宋纖有遠操不與世交太守馬造焉纖高

見德可仰而形不可睹然後知先生人中之尤也銘詩於石壁曰一千丈

重閣複壁李林甫知結德多一有刺客所居藏發覆壁趙岐逃難四方匿姓

知其非常人與俱歸熟視石壁帛和入西城山王君令一一二年漸竟

徒持墻壁陳子昂言下詔書奉行家徒四壁卓文君奔司馬相如金陵畫壁

題通州壁樂夫有贈效阿軟絕句有受罵面壁王述事一一峴一嶺一嶺

闕苦具切靜也一其無人一鳥高闕切博勞身詩七月鳴一亦名鴉詩鴉鳴則將寒之候

唐裴耀卿為相王府典籤與童納橋直其直於官膳橋箭鋒直射以巧力
利器更直備顧問府等一便納橋直其直於官膳橋箭鋒直射以巧力

能持一鏃與我何預
相巧力何預
能持一鏃與我何預

不直平坐程不港請入三十直溫造坐不救火自劫
不直平坐程不港請入三十直溫造坐不救火自劫

大夫詳誤○力病甚口一交費傳全病一又勉強用一杜一疾坐清曉
大夫詳誤○力病甚口一交費傳全病一又勉強用一杜一疾坐清曉

時力得韓少府造一距來二弩一謂之作之團力唐曹翽玉皇教其兵以秦
時力得韓少府造一距來二弩一謂之作之團力唐曹翽玉皇教其兵以秦

功使食力徐擇常日耕稼非其力心同巧力智譬則也聖齊力日
功使食力徐擇常日耕稼非其力心同巧力智譬則也聖齊力日

既筋力老者不以一回天力唐張玄素論事稽考力以所賜車馬陳坐日
既筋力老者不以一回天力唐張玄素論事稽考力以所賜車馬陳坐日

今日所蒙烏獲力也關力智祖曰吾斷不量力不度德新求
今日所蒙烏獲力也關力智祖曰吾斷不量力不度德新求

力陶潛為彭澤令不以家累自隨送一力給其子曰臣何力之有因不如仲
力陶潛為彭澤令不以家累自隨送一力給其子曰臣何力之有因不如仲

力漢一曰始大人常以臣東南民力薛簡庸公為江准發運使薛王文正公
力漢一曰始大人常以臣東南民力薛簡庸公為江准發運使薛王文正公

○救賦力切亦作勑墨敕中宗時韋后弄權屠殺納貨授批救李藩
○救賦力切亦作勑墨敕中宗時韋后弄權屠殺納貨授批救李藩

○惡詩准救唐德宗謂崔叔清一思詩自更補斷酒准救安祿山帝恐人以酒
○惡詩准救唐德宗謂崔叔清一思詩自更補斷酒准救安祿山帝恐人以酒

○餉以時我車既謹一鵠○河南府伊閻縣
○餉以時我車既謹一鵠○河南府伊閻縣

○陟竹力
○陟竹力

○食繩力切書一曰推不玉食推辟鮮食銀
○食繩力切書一曰推不玉食推辟鮮食銀

○與道一語○食繩力切書一曰推不玉食推辟鮮食銀
○與道一語○食繩力切書一曰推不玉食推辟鮮食銀

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一
○嶽峻徑捷疲一五雲陟五朵雲一

丙告以賜**放食**凡燕禮一者旅眾也未得正祿耳食秦者宰於剛祀
之此其始也**所**謂燕人在官者○一京華春社**耳食**秦在位日浸不
察其終始因幸而笑之此與以**味**蓐食**師**夜起因**齧**食聖人鴉居而一
一**無**異更起○言一不能知味**蓐**食**師**夜起因**齧**食聖人鴉居而一
也言仰物而食**能**天世也**蠶**食在莊子將死門人厚葬莊子曰在上為鳥食食
食見鳥食**吏**食道旁**蚕**食媿國之人刺其君**霍**食東郭祖朝上書請出國家
之上何預焉祖朝曰肉食一旦失於廟堂**肉食**一者鄙未**寒**食冬至後
五日六日有疾風暴雨為一月一互見**烟**後周奉言并州**推**食韓信曰洪王
以介子推焚死每冬中報一月一莫敢烟變奉革之**推**食韓信曰洪王
我使伴食**廬**懷慎一續食次一令與計皆詳借**嗟**來食**餓**者曰予惟
粥**東**家食家宿詳祖魚不食華亭船予和尚偈曰夜靜水寒一**廢**無食齊
屨材遊欲就高帝求郡不知置錄一教之習浦上口信自陳卒忘所教言多
大言曰度啓公度啓公一帝大笑曰卿何憂無食賜米百斛使言多
食**是**食一矣能**癰**內食董卓乞誅宦官云**癰**墨食一吉一**漂**母進食信
無肥乎詳言

釣城下諸母一見信飢設食信曰吾必以重報母遺天下食齊相公見
怒曰大丈夫不能自食吾哀王孫而一豈望報乎**遺**天下食齊相公見
食老人曰請一以吾府庫有**滅**此朝食晉與齊戰於鞏齊侯曰
限老人曰春不奪農時一有食詳衣**滅**此朝食晉與齊戰於鞏齊侯曰
大損眠食晉都超曰我亡後公若一可呈此籍父惜哀悼成以噎
絕食陳子昂云人有而得病乃徐郎但事食周捨戲徐之才曰一不
欲一不知食絕而身殞也**徐**郎但事食周捨戲徐之才曰一不
○法食佛與一惠菩薩說四時日時為夫食午時為**不**雜食二十四祖曰
詳果**地理**城波斯國西人日有食之凡三十六○又凡物侵皆曰
○息相即切益晝夜之所一胎息習閉氣而吞之名一初季行氣
常令入多出少○從半夜**龜**息袁天綱相李嶠睡則氣從耳出名一必大
至日中為生氣抱子**龜**息袁天綱相李嶠睡則氣從耳出名一必大
冢中以數月乾飯及水漿與之後三年收所弃女骨仍坐冢中言**息**建
寤寐而一**屏**息後劉祐傳中常侍用事**保**息以六養萬民遊息藏焉
○懼而喘息**屏**息州郡累氣**猶**一也**保**息以六養萬民遊息藏焉

焉一焉夫然後安其消息記月令在陽生為息又音信姑息記檀弓注太息喟然
而親其師記李記消息陰死為一又音信姑息記檀弓注太息喟然
後祖紀長一止息唐韓臯聞廣陵散至一又音信姑息記檀弓注太息喟然
者六賈集止息者琴篇名其哀傷晉雖暴與終於一困賤息趙
世家左師公曰老臣一弱息呂公曰臣有六月息大鵬以倦李願息
子貢一於一告仲尼曰一有所一仲尼曰生无所息望其曠畢
如也宰如也墳如也則知所息矣列子与荀子大畧篇少異
陳餘說武臣自立曰將軍無失時一息鼻一喘熄滅火一息實是然戰切止也
字義同陳大丘德星聚有政論殖其庭在平正兒蕃殖庶類貨殖而
詩一焉將落昭十八殖生長也封殖敢不滋殖衣食一殖性泯
水漬底見詩一人名唐人埴黏土管子堯洽埴陶人一而為器
其止又持正兒也擗埴已詳塗一音別赤埴埴植也植也植也
也擗埴之工考工上一粘十也擗埴已詳塗一音別赤埴埴也植也植也
不則僵後夏富植高氏蔡氏並皆淨植音別動植恩被一植植謂之
書方正例一富植後夏淨植音別動植恩被一植植謂之

也謂戶持鎖植也門戶橫植所穿木鎖所附者識賞職切願一荆州詳州字不詳字掩
詳乞弟末一兄夏識士之致遠先一才識劉知幾曰史才須有半
詳員不程伯醇詳沈器識裴行儉傳一才識劉知幾曰史才須有半
面識應奉事為不相識孫升唐介吳中復為御史公未嘗酒東識陶階
刺史王弘求識之不能致潛嘗往庐山弘令潛故人廣通之一半道要不
之使一門生二兒奉與及至欣然便其飲酌俄頃弘至亦无忤也本
為人識東坡云得罪以來深自閉塞扁舟草屨放浪山水間与漁樵雜處往
與之亦不吝自幸庶子孫不識郭子儀一數十債者不識相温少游博徒
我免矣回李端處言子孫不識郭子儀一數十債者不識相温少游博徒
彦道表隨温往与債主戲一一擲勝百萬詳情貴人不識不識章章是我識箭
不卡作表彦道也遂就局一擲勝百萬詳情貴人不識不識章章是我識箭
不識魏郝昭守陳倉諸葛亮圍之使其鄉人一六識眼耳鼻舌行識
色受想行平声識此人一將詳斗漢飾公孫弘更事一潘飾顯設
五蘊皆空詳識一將詳斗漢飾公孫弘更事一潘飾顯設
圖粉飾治具靚飾豐容一脩飾公孫述一豹飾羔裘簞簞不飾大臣

不廉而廢者曰遺婦人飾諸葛亮數挑戰帝才出

聲儀刑文王之典書商品式備具九節用

容閭又法也詩是南野馬式馬授善別乃鑄銅

伏軾鄴食其說齊能軾漢列侯車見螭軾楚王

拭僧懶或勸其拭涕曰我豈有勤拂拭假有塵安

拭工夫為俗人拭詳上声涕勤拂拭假有塵安

○畫遠方切傷痛也書窮實側切前附子一歲曰

頭五歲曰天雉名夏諸侯極渠方切易有太

六禍也四極東至泰遠西至邪南南至濮極方隅極

亦曰北辰居天之南極前天文志西極武盡得大宛馬歌曰

中和極天子建一寧極唐盧鴻隱嵩山所居室自号

共論太極晉紀時滕木分瞻謂其理極外無復外

切亡也服匿於新王賜武齊陸遜博覽竟陵王得古器小口方腹底平容

七八升澄曰此名一昔時單于以精兵匿匈奴之故被圍七日引車

避匿蕭相如去廉頗浩然懼匿玄宗至王維家孟懼也

不可一詳笑蠱測以海詳土圭測景詳圭不能測每詣喜信宿忘歸

自云一難測晉顧和周顛指和曰此中何地利惻痛也孟隱後張

誠心一畏治稼良粘也億萬力切十供億唐蔣沈溥注謂料度也

不億其體三百億一憶情由生不臆唐蔣沈溥注謂料度也

音臆對臆口不能言請微臆白憤泣沾臆人生有情臆醜醜也

涉海說文一效从艸音聲本作蒂或作一曰一英抑塞也屈也止

漿也又蓮心謂之抑又謹密也

詩威儀一又美色詩抑懷快一按抑至和无攬

以自警○色所力切語无喜一无温一國色驪姬者一也公羊唐

色子瑕曰室於怒而食色左荀安園鼓使其民見菜色雖有凶旱水溢民无

食兩一○山谷題登菜云士大夫不李光弼代郭子儀為朔方節度

可不知此味不可使天下之民有此色氣色一號令之一乃益精明

怨色卒无一行色孔子說盜匪遇柳下季曰車馬菜色目欲一茶魚色

諸侯不一謂借父獲鋤慮有衫色顏真卿問范氏尼曰吾得五品官

貪色如一劫德色一賈誼傳衫色否尼指紫絲布曰顏郎一如此

日舍人面色如一詳僕火色馬周為肩藍色盧杞鬼兒失色君子不

失日一於堂暮潤色子產嚴光武以日五色李程初出試場楊

傳笑於國詳韻潤色之物色嚴光武以日五色李程初出試場楊

破云德動天鑒祥開日華於陵曰須作狀元翌日无名於陵非王王文曰若

有此賦何以待之曰非狀元不可於陵曰苟如此已憤

字不差遂擢狀元固史○李方叔為坡翁容地知幸欲收無人色李廣為

之慨而下第坡詩云平生謾說古戰場過眼皆迷一

敗更士一欲炙色顧榮見執炙者有一未嘗識女色唐元德秀

廣意氣自若○欲炙色顧榮見執炙者有一未嘗識女色唐元德秀

○無色界十四天多色伎倆道場禪師曰野人一來回

代對○怪風一雨詳○坤為吝一穉穉詩不稼不力穉服田不能為

通作穉左大國省穉而用之昭元穉穉我一事力穉服田一不能為

穉孔子曰良農能稼而一穉穉詩不稼不力穉服田不能為

穉之為稼斂之為穉言善種一穉穉我一事力穉服田一不能為

為白一酸者為穉一孟養其穉一功名酸一又天一蔓青絲一即天門冬一云

柳也詩吹彼一心刻一燕有巧人能於一刺端刻沐猴一詳猴一又牛一善穉

九棘朝士掌建邦外朝之法左一孤卿位焉禮秋官一列棘見大棘司寇

之下故稱大理後冠榮傳置之一圍棘唐禮部閣議之日設一撤棘和

官曰一王制嚴棘後冠榮傳置之一圍棘唐禮部閣議之日設撤棘和

率一開門士皆越棘引一鳥号一垂棘一之璧詳璧桃李荆棘宋唐

肅然所取皆得人越棘引一鳥号一垂棘一之璧詳璧桃李荆棘宋唐

過不罪而化得无少鷹鷂之志邪香曰鷹鷂不若

車中荆棘左慈過徐隨門

乘欺慈云徐公不在客忽見在楊柳抄一皆生一客會中荆棘一掃除

未入報隨之曰左慈也客遂慈扣頭謝客不无復荆棘矣

火囊不生詳梨會中荆棘晉深公云度元規

百步行極是糾是極極急性又謹重列謹

通作棘詩綴沈孔棘衣領詩要極極急性又謹重列謹

棘匪棘其欲棘之棘極極急性又謹重列謹

七與我切繳射也語下不射宿又里也

東林空鳥雀癡王霸三十七道德五

不避一國戰國詳綴鈞式人詳拳

出交趾薛文誥匠翊輔也又馮一都各通作翼詩以

氏不以一為楹翊輔也又馮一都各通作翼詩以

疑於神虎翼或問酷吏曰虎哉一哉

疑於神虎翼或問酷吏曰虎哉一哉

眉賊至書勞曰始雖垂翅回溪終能

翼浮一七命大翼一艘十翼孔子作一象下象上象下象上

李放為奇陣張一詳性錢無翼足而走

其八惟一門不得入闈者擊之

墜地折其左翼後都督八州吏

媒官後周紀即子力切語之也

三妃三即來我謀方翰之唧唧

行箭挾咬之刺之蓬上嘯而

之前一紀稷稷田正也烈山氏之子曰柱為稷自夏以士

一俗定十五皆黍獨稷後朱穆作絕交論蔡邕作正交論曰彼農

一景也哺時皆黍獨稷後朱穆作絕交論蔡邕作正交論曰彼農

此客逼謝安少過王濛曰擒虎逼

此客逼謝安少過王濛曰擒虎逼

東都紫毫書小研紅綃答江令碧月詞未終見韓一
一領數及騎直來一人都无去就意兩部煙花記

膝也詩帶裳一以邪一在下偏
東其脛自足至膝以常邪經也

游觀一德之壽域一八荒開域穿域闢一詳鞠
一王廢論壽域一相鞠域今踢毬戲也

華城一十年不入謝西域一光武開關
一謝西域一水由域皆以金室

中一絕一人名一謝一荆南和梓詳庚
形影動成瘡瘡一居水中以氣射人者各射工居水旁山林間

含沙射人者各沙虱一或作蠶春射一十八年有蠶注短狐也
療溪域宋諸暨層女至孝忽空中曰汝為人一病必大富隣

詩篇廷廷之不知風閩門限語行
閩不覆一械詩祿一減漫一破絨羔

之縫詩羔羊之
其厭也如絨以言其一也也音育物人為物然所厭役

如被絨膝至老不可救拔故曰一謂如膝溝也
血靜也詩閱

○

○

幅 拍逼切幅
一至誠副也
○**側** 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

副 判也
○**側** 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

側 阻力切漢也
幅一子安
幅一子安
幅一子安

薦也仁傑漸曰一一一我為羊公無德晉羊祜鎮荊州王戎王衍並憾之
所容乃不知吾不逮遠矣臣多毀枯語曰二當國一一一
史忍傷盛德謝安索開帷口諸妓夫徧報所德蘇秦一一一
一一一者猶足以終其天年况一一一無怨無德知所報詳報
曰此為蜀年号由是無怨無德知所報詳報
益重儒士歸田丞一一一趙得語戒之在
詳詳一一一皆絕色一一一
飛燕妹也皆絕色一一一
信傳一一一先得一一一
欲一一一而一一一者也一一一
鵲巢和尚佛法大意師曰諸惡莫作眾善奉行白曰三歲孩兒解德摩道師曰三歲孩兒道得六十歲老人一一一
則馬失馬得一一一
所恨兵失兵得一一一
一一一也相如傳一一一

一兒數歲獲至國清寺付典座曰人來認可還之名拾得二和尚僧負朱
後今去內厨滌器常日澄溢餘食一一一即負之而去詳舌得二和尚僧負朱
王建詩一瓶一鉢垂一一老万水干山一一則子德切詩真一一不遠順帝之
得一一來因号一一一五代史補
明哲實作一一一記二言而八則天官一一治五則權衡度量一一夷則七月天則見
為天下一一左毀一一為賊八則都鄙利太宰一一准為一一夷則七月天則見
麗則詩人之賦一一以一一辭人山則安世房中歌曰磴一一即一一師表
則法也言積實之人名如玉勒盧則切馬頭絡猶又刊也盛眾類如山也
盛眾類如山也人名朱勒刻漏制溢勒坡題益竹云倦扶一一牛勒蓋國被
飲種類黃一一朱勒刻漏制溢勒坡題益竹云倦扶一一牛勒蓋國被
渡勒唐高仙芝討小勃律據一一川會川張仙蓋摩勒即餘付摩訶地勒
胡角以應胡茄橫吹有双角者是也張博望入西域傳其法於西京
推得一一一一一曲李延年以造新声二十八解以為武曲晉樂志
勒在羅國呼城曰健羊羅其色在內曰助魏王討劉備不得進
日一一弃之可惜啖之无所得王遂还九州春秋刘伶醉与俗龜力盧肇表
人相忤其人棖袂奮擊伶曰一一一不足以安尊榮其人笑而止龜力盧肇表

赴幸先達曰袁州出幸人邪曰袁州幸
人亦猶沅江出十甲九一者稀矣據言
謂之賜羊肋北齊傅伏為東雍州刺史周武招伏不從聞後主已
卧沙激事賜羊肋降周武曰朕平齊惟見公一人自食羊肋以骨一伏曰骨
以相付安抄筵者著著指間湯乳石有時而一注石
○式他德切詩差式无或一貸之借忒民用一匿惡也乳司淑慮旌別
引慮負罪一聚慮无九一焉蒐慮少皞氏不才子服修慮崇德一語一
為善靡慮之死矣反慮朔而月見東方曰一五行謂月當沒而更出見
者也○苦得切左得雋曰一師一剛克沈潜一高威克一厥愛允濟愛
温克人之齊聖飲忌克不一不培克而好勝人本自伐八克八戰一
刻左舟楫一楠史一木為吏宋人以玉一楮葉詳楮一鶴類登詳鶴一
能開頂一花一刻或問杏子少而好賦曰然童子一暑刻梁賀琛武帝與
能開頂一花一刻或問杏子少而好賦曰然童子一暑刻梁賀琛武帝與

王王邑自以功深刻持刑一印趣刻漢王令趣漏十一刻唐太宗純意
對宰臣率一酒二十刻張仲吉以盧為家產其子寬夫從予予數將諸
詩限三刻梁謝徵武帝限三刻賦一二十韵微二刻便就
期約一又特徒得切一牛又挺一詩百夫介特楚子收一單新特求
婦為特也寡特武公一兼縣特胡瞻尔庭有一一詩賦一歲軒特李
筠体兒勝特一歡難力致避滕亦作蠶食苗葉者一名蠶子曰喙
呼此切月令一帝冬後陳寔傳夏色尚一晉載記符融食糲
肉知一白倦遊錄五色皆損日惟一色无損一子事詳子曛黑欲別向鬼
黑賈家女妬而少子一而短一詳崑崙黑晉宮人形長而黑杜丹黑劉訓黑
嘲面黑楊球一入一詩笑似烏梅裂啼如憲怎黑守着一兒獨自十四
子俱黑劉榕擣捕一之成盧詳盧鼻下氣黑袁客師渡江而还曰船中人
躍未定榕喝之成盧詳盧鼻下氣黑袁客師渡江而还曰船中人

子至乃
澆詳澆
○默
莫北切靜也又不語也語一而識之或作哩匪

亦作嚶價誼賦于嗟嚶之兮○漢書寶嬰封默一雷声元默一一无為忍

默云山谷以一一平直為四印云石居默一文高作一虛中傳六虛中字張鏡默

酣呼不絕而鏡靜一詳呼維摩默然一文殊謂維摩詰曰何等是不二法門

冒一王吉傳一霧露季陵傳一抵冒一剋因傳蒙犯也一食冒一之民將一墨龍

劑又名黑松使者並詳劑玄香太守詳香陳玄一松滋侯一蠟綠一石墨陸士

登銅雀臺得曹操所藏一一精好可寫廣州記一儲墨一唐薛元賞傳都市任儀少黃

墨一唐宣述蓄書二万卷義墨一元祐中王晉卿置墨十教品雜研之昔在黃州

為雪堂一邪一義墨一議論一子墨一楊雄從獵還上長楊一飲墨一梁試進士不

一水一斗一坡五卷注一睥睨一啜墨一滕達道蘇浩然曰行甫嗜一水一水蔡君嗜茶

一統袴兒可一二十一通一啜墨一老病不能飲但把玩而已看茶一一事亦可

笑在池
淡墨一禮部放榜以一一擅書清墨一竄日史一削墨一商委督繩公銅

墨一草一之班一縣一矣墨一顏回食一少墨一不遇墨一丈尋常之間一箇一墨一莊大宗

以副式玄墨一逃墨一楊一歸一繪一繪墨一王墨喜一王墨酒酣後先以墨潑

墨一之瑜一給一尚書一僕承郎月一金墨一停提國一中一魚吞墨一魏野

鶴遊烟詩話一奪人一五墨墨一晉平公謂師曠曰其矣子之墨一也對曰今國有

即墨一齊威王烹一擗上磨墨一北史荀濟傳會一一作擦一帳頂煙墨一范文

門下多延賢一及夜肄業一夢人遺墨一袖自此文章日進一盈一非人磨墨一

盜摸鐘墨一陳述古知浦城縣有失物莫知為盜者乃給曰某磨有鐘

入帷袋之惟一因无一肉食無墨一司馬宗曰一者一今吳王一姓氏一孤竹君

氏改姓一曰字公信即伯夷弟

即叔齊一曰宋人墨突不默詳黑悲絲詳綠

異糾一賊則切語鄉原德之官賊討賊或言不可怨曰用官物計

破賊使米賊後張陵法作符書受其道者出身五斗謂之

能病之我賊後黃巾賊亦名一蠅食禾

竟日無倦敏曰試君蠹賊及其一蠅食禾

難當賊李勤言我年十二為無賴賊逢人即殺十四五為

人死也白頭賊陶侃擊之殺將王貢做造謂曰卿本佳人何

將軍以朱將軍何以不言何曰諸鬼殺賊張巡城陷再拜曰臣生不能拒

氣吞賊張巡傳勇作賊便殺一人言一復若何其慎更偷詩鈍賊

詩有三偷一語沈約集中賊形云任昉文体太疎魏叔大偷初叔曰

最是鈍賊詳偷沈約集中賊形云任昉文体太疎魏叔大偷初叔曰

○煩惱賊以智慧知破一

猶捧土一孟津一伊瀆塞一從時匠門戶道橋

孟青塞太平之一啟塞一城郭墻動曰一耳壁塞兩一江以沙塞

魏多作布囊欲以伊瀆塞一桑門之饌

盛沙塞一詳江一伊瀆塞一王英傳即優漢塞

位岐可南阮北南一貪一中央詳南一濟北父老謂張良曰

逐北一追亡一北燕趙爭地一奔北以敗走為北

北山北後一真謂太守曰若欲吏之直

温王坦之不受鎮北之鳴向北杜鵑凡一皆

号恭亦一將軍也

北入不得攻南掩北後朱雋擊黃巾於宛鳴鼓一其西一賊乞降

吳大敗因攻南掩北後朱雋擊黃巾於宛鳴鼓一其西一賊乞降

吳大敗因攻南掩北後朱雋擊黃巾於宛鳴鼓一其西一賊乞降

吳大敗因攻南掩北後朱雋擊黃巾於宛鳴鼓一其西一賊乞降

吳大敗因攻南掩北後朱雋擊黃巾於宛鳴鼓一其西一賊乞降

緝七八切光也績也績也詩於一熙敬止文正 霽大雨 茸左叔孫所

必其牆屋去之 完〇十 是執切語聞一知一孟一朝獲一易天九地一記

拔十五 得史糯十 御謂粗米也 利十 易業功不百者不交常也 潘十 詩多犯

老杜王直方云老杜復生須與一廡炒 省禁十 令一 以上乃得官兼

什孟或相 五十 軍法五人 至十 詩什 國風不言什 雅頌言什者 國風

篇為膠惟魚藻蕩閔予小子 雖過乎什亦稱什 奉成

拾道不 遺詳遺 決拾 遂也 以韋為之 以護左臂 利強者 攸謂以

手指相也 刪拾 呂不韋 潘猶拾 也哀三 潘汁也 芥如拾 取青紫如

枯薪一 穰堪 一福 袴一 烏皮袴 褶一 靈越初 自北 走南 迎者 出一 燭翳

拾紅兼題詩詳葉 決拾 遂也 以韋為之 以護左臂 利強者 攸謂以

都督部分之使一 執之 入切 端擇善固 一足以有

請閣下乃 季以 軍禁 大行 〇執 之入 切端 擇善 固一 足以有

以禮 見一 之一 不謂 之進 不謂 之退 不貌 執一 之士

砂汁 臨阮 縣有 民世 年百 歲其 宅井 水赤 掘得 丹砂 著汁 蓄大 傳初 度江 入

乃云 褚季 野四 座驚 散无 不狼 狽世 說一 齊王 肅渴 飲一 蜜汁 酸酒 如

酒如 一三 年黃 州一 雲汁 東風 融一 墨汁 浮提 因獻 神通 善書 二人 出金 壺中

大筆開 决為 峯寶 露之 狀絕 妙封 氏見 圖一 盧示 添工 忽來 案上 翻一

如老 鴉一 漆汁 過小 索詩 大是 用樹 汁如 一故 綴牢 尔物 美相 感志 柳汁

李固 行古 柳下 逢柳 神曰 吾用 啜汁 媿太 子申 自將 攻齊 欲还 客曰 彼勸 太

矣便 統一 灑汁 竹欲 一一 灑汁 函牛 之一 以烹 雞一 則蠅 嗜汁 青一 肉

而忘漏死 沉香汁 晉石崇廁上置 沃瀨汁 此齊文宣問崔叔璿 其為發

髮潤汁 其 羊車蓋汁 晉宮人以竹葉酒 其乳汁 宋朱倫之為魏軍所攻

如此兒必沒矣 魏果克之 佛飲米汁 蘇晉得致勤 佛之本曰是 好

○羽白 似入切語時 傳不 乎 相遠也 詩 近習 天子親幸者 從

橫習 後魏孝文帝會群臣飲 帝幸庖曰 三三橫兩 勇可習 魏社裘為

表攻西鄂時 柏孝長在城中 入室閉戶 牽被覆頭 相攻半日 稍敢出面 其明

側立而听 二日出戶 問消息 四五日後 乃負楮觀 聞語 哀曰 也 也

水墨積習 王紹宗工草隸 曰書无工 結習 漸消 留不住 印須 还 人名

兩繼 詳繼 其 姓氏 東陽宮音風俗 通云 一國名 崇有 響為 陳相 山簡 醉

筆者 稱自云 四海 李衡妻 一 於 龍 春秋例 凡師 不用 旗鼓 一 叔 俗 龍 百

承華 感 魚 襲 天下 十 魚 榜 襲 周 旋 一 禮 之 文 也 陳 記 祖 什 襲 宋 愚 人 得 燕

口 重 巾 掩 襲 晉 羊 祜 每 與 吳 人 交 之 計 史 輯 奏 入 切 書 一 五 瑞 統 輯 一 一 季 元

蒙 輯 一 快 一 集 唐 有 經 史 子 一 四 軍 詩 雲 集 四 夷 一 志 烏 集 一 一 而 王

仲 鄧 每 比 一 蠅 集 食 瓜 一 蠶 集 蟻 雜 一 上 蛛 集 乾 葛 噪 而 行 人 至 矣

噪 則 錄 一 則 公 集 四 方 秀 文 一 京 師 唐 儒 翔 集 一 而 後 聯 珠 集 寶 琴 兄

花 草 集 唐 李 又 與 二 兄 俱 以 文 章 自 名 雞 跖 集 宋 景 文 有 一 七 葉 有

集 梁 王 筠 云 未 有 一 一 之 中 各 德 重 光 覽 何 遜 集 此 齊 元 文 造 暉 業 大 會

暉 業 曰 吾 家 千 里 駒 也 苦 集 滅 道 財 帛 滅 謂 壞 謂 聚 集 骨 肉 謂 修 行 詳 語 入 名

酒 白 臍 疑 詳 發 入 人 執 切 左 右 茅 不 一 孟 過 門 不 一 韓 文 一 稍 入 集 田 廢

出 為 華 州 刺 史 文 宗 曰 朕 欲 優 其 一 一 尔 史 一 去 声 漸 也 羣 臣 祿 食 稍 一 給

也稟入唐劉晏遊權貴干請但厚以奉之未嘗使親事也
 也稟入唐劉晏遊權貴干請但厚以奉之未嘗使親事也
 散樂呼天子為陛下公曰每日常散樂呼天子為陛下公曰每日常
 長入在天子左右為一教坊記猛入孟知祥鎮成都先是蜀人打毬一棒
 陰一籌後孟氏得兩邑入東方朔傳賞賜一其租賦也三入功德一承明
 一籌者一子昶也細細也司錄再入公詳黎崔四入唐崔胤交結朱全忠凡
 文章錄謂為侍郎當侍中崔四入四拜相世謂崔胤交結朱全忠凡
 也文章錄謂為侍郎當侍中崔四入四拜相世謂崔胤交結朱全忠凡
 直一見高仕宦出入不入當出詳限宰相五入唐一入者長孫无忌狄
 祖詳闈仕宦出入不入當出詳限宰相五入唐一入者長孫无忌狄
 張延賞部敗四入者韋巨源六入味身入觸意入法皆虛妄獨嚴詳塵
 姚崇一者蕭瑀裴度職源○六入味身入觸意入法皆虛妄獨嚴詳塵
 廿一十字并○揖伊入切音與一曰謂上如○亦作揖總彼注三
 揖衰三君子一而進○旅揖孤卿特揖大夫以天揖司儀一揖庶姓時揖
 小下之時揖平推手一十揖見上平挹遠吞山光一汲黯揖青曰大將軍
 推手小幸之似也○十揖見上平挹遠吞山光一汲黯揖青曰大將軍
 有揖客亞夫揖拜請以軍禮見天子改容式車虛位揖宋環時宴朝堂張
 詳客亞夫揖拜請以軍禮見天子改容式車虛位揖宋環時宴朝堂張

第一人何趙壹長揖一○字元叔奉郡上計吏到京師司徒袁逢受計一獨
 下坐詳坐趙壹長揖一○字元叔奉郡上計吏到京師司徒袁逢受計一獨
 後史御史端揖舊一○曹長官於道皆免帽降乘乾封中王本而巴圖典為聲高揖
 子高游趙將還鄒文李節送行流涕交頤子高一○舉笏却揖宋璟為御
 公卿以次謁張易之促步前環觀行於揖近代主司察言於一幅之制也
 宗實不喜拜揖唐王績性尚傲一○一之內言銓宰之輕也德
 無道秦不宜滌見不拜遂揖陳遵使勾奴工冊日贈子以不拜曰足下必欲誅
 長者詳說勻洗不拜遂揖陳遵使勾奴工冊日贈子以不拜曰足下必欲誅
 相逢一○濕其耳一○注耳動兒東濕寧成為人操不如惡濕居下流
 區后土濕一○星斗濕一○露下○障猶濕一○氣淋漓○丹田濕一○而水上行詳
 荷不濕風裏楊花重不定雨龍公休濕張路斯每歸休於常濕夫
 首濕許渾向中多用字字云一○一○一○又羅隱詩比如有喜於哀樂心志
 等語不離一身故以羅隱一生身為對不若對以杜甫一生愁為優前

江詩 準 卽入切又洽 水細通兒又集 水切 揖 聚也詩揖一兮一亦

戰 以 及 眞立切左与謀曰 風馬牛不相 過猶不 八及 張僉等

言能尊人追宗 者也後黨國傳 老將智而 譚及 謂譚延也 日及 木槿花也 衡賦則言 之在條

鞭不及 雖一之長 汝定不及 晉王述謂子坦之曰人言 互見談 及 書一經

執 直力切前礼樂 龍 僕夫行不進駑馬若 之 授執言 之 以

前韓祭柳文天脫馬羈 維 僕夫行不進駑馬若 之 授執言 之 以

南冠而縶 誰也詳音 立 力入切孟孺夫有 志語三十而 記牆面

仗 程門 獨立 後戴憑光武詔公卿大會皆就席憑 帝向之曰博士說

馬多所解釋拜侍中使裴俠守河北入周謂丞相泰命 曰俠清慎奉公

有如俠者与之俱立 使君後周史 北方有佳人絕世而 一

特立 獨行能耳目之官 隻立 乘權 疑立 婦 于帝西儀礼

見 縵立 遠視而望 山立 謂不動兒 海立 坡有美堂暴雨詩天外黑風

杜少陵云 水立 見上 壁立 家徒四 又相如 竹立 如立竹 鼎立 前通曰

下 足 兩立 秦優旃呼陛階曰汝雖長 羸立 滕人 曰優如許 因詳手鶴

立 紹士馬瞻望 我雖短幸休居更記 羸立 滕人 曰優如許 因詳手鶴

強沙泥有 鼠立 能人立交前足於頸跳弄善鳴 豕立 而啼詳豕 荷擔立 宋

帝時魏兵至瓜步欲渡江 側足立 後吳漢每從征伐帝 當熊而立 熊跌出圍

欲上殿馮婕妤 貴子侍立 竇儀尚書性嚴重每對客坐二侍部三起居

三十一其父祚每見客尊朝服侍立客不 粒 書蒸民乃 宋朝王淨拜相年

安求去祚曰 生 起 辟邪漏田 粒 書蒸民乃 宋朝王淨拜相年

以 爲 盤針 擊粒 投泥 障 壁粒 見上 鸚鵡粒 紅箱 殘 戴粒 東

蓋冠蓬萊 曰彼冠山何異 農先嘗粒 魏劉禎書夏屋初成大匠先立其

我 道遙於封壤之巔 詳 農先嘗粒 魏劉禎書夏屋初成大匠先立其

嘉禾始熟 夫 其 一

姓氏 請何羽音備宣公太子及居汲因氏 孟字長孺僕陽人性倨少禮面

折不能容人之過武帝曰昔在穆臣如類近之矣拜淮陽太守上曰吾

義為主簿出史 吸黯女兄適司馬氏生安官至九卿 後 入名 韻 竹

不可分 則似婦人善吟 而 史項羽悲 兩泣 劉信立之 鍾不得奉 兵泣

歌 下 揚宋 岐詳 絲 下 和 玉 詳 玉 兩泣 劉信立之 鍾不得奉 兵泣

晉 爰人 士登 新亭 相視 流涕 王導曰 牛衣泣 王章冬无被卧 詳 衣 涕 王脂

泣 罪 范 鳳 枯魚泣 去 鮒 鮒 相 教 慎 出 入 古 樂 府 前 魚 泣 安 和 治 容 子

天 應 泣 真 宰 上 訴 母 管 子 泣 韓 伯 瑜 其 一 之 泣 母 曰 它 日 未 嘗 泣 今 何

以 泣 父 溺 女 泣 亦 發 泣 三 日 後 與 父 俱 出 詳 魏 令 亡 姓 泣 齊 樂 豫 求

諸 姑 姑 馮 氏 女 因 色 結 曰 費 軍 貴 結 奈 向 隅 一 泣 泣 切 色 力 羞 流 囊 空 恐 一

人 志 節 當 一 一 一 悲 愁 詳 佛 結 奈 花 兩 一 泣 泣 切 色 力 羞 流 囊 空 恐 一

不 割 竊 然 太 一 一 如 瑞 翻 結 奈 文 思 一 一 吸 兩 黑 詳 龍 一 一 硯 水 是 夕 魚

吸 飲 如 魚 一 一 鼻 吸 醋 詳 醋 碧 管 吸 酒 詳 管 花 露 吸 貴 如 傍 一 一 吸 笙 喧 吸 高

何 人 家 一 一 韻 嘔 吸 山 鐘 一 一 口 吸 西 江 是 什 麼 人 祖 曰 待 汝 一 一 一 一 一 一 一

水 即 向 結 奈 吐 呼 一 一 合 羽 合 也 盛 也 詩 箕 翁 維 南 有 一 一 載 一 一 其 一 一 一 一 一 一 一

也 一 一 如 也 語 言 滂 水 流 疾 詩 一 一 此 一 一 住 一 一 然 患 其 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

樂 純 和 一 一 合 滂 水 流 疾 詩 一 一 此 一 一 住 一 一 然 患 其 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

將 一 一 戰 一 一 立 切 詳 載 一 一 干 兵 不 戢 一 一 猶 火 也 一 一 魚 戰 一 一 小 一 一 脫 漏 不 可

收 在 此 今 依 韻 會 別 出 邑 字 天 邑 商 割 巖 邑 制 一 一 良 邑 駕 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

詩 商 一 一 翼 一 一 監 韻 於 邑 字 天 邑 商 割 巖 邑 制 一 一 良 邑 駕 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

秦建此城報崩壤有馬馳走反覆
因依以築城名曰天康地純
洪祖曰以沛為朕
不得寧一邑
外曰子白慶氏之邑足欲故亡吾邑不足欲也云云在
高文書慶

圓基州邑
宋明帝好圍基置州都大中正王暹傳
休仁為圍基州都大中正王暹傳

嗚也
短氣也亦作邑前師丹
傳內常邑之後邊遠收傳拍邑

嗚也
短氣也亦作邑前師丹
傳內常邑之後邊遠收傳拍邑

嗚也
短氣也亦作邑前師丹
傳內常邑之後邊遠收傳拍邑

嗚也
短氣也亦作邑前師丹
傳內常邑之後邊遠收傳拍邑

十五合 與盡同用

侯閣切諸九諸侯孟若下符節詩天作雲天下之土水合霸王

烏合揚雄九合毀方而一陶者為瓦必圓而去己之大圭角而與眾人小合也

失其瓦之質儒行不足下局合謂高豐傳珠合宋旧俗巧女以小珠在行

鄉合上音香訖合天地一也○上嘉欣二音昭合為其一也
指合行合上起不同對門不通爾南溪合水重晚合非无此論但一暗

晉山濟以為不宣去州郡武備時題合人餉媚武一孟酪公噉少許蓋頭

他人合富貴一鹽鼓千合前貨殖傳言枕前金合田承嗣將併

造紅線衣到城直承嗣寢帳一因持以蜀忿夜合又名一歡

梶至暮而合五月花紅白色上苦絲茸晉穆康云一散一忿床單欲

人之則贈以青棠合歡也○心會填錯為肺灌取一皮黃服之后山詩

合昏湯詩逢年遇合力田不如一便依幸傳神物終合張華得雷煥干將曰

常一亦賦名六合北齊劉畫經詳古拙製賦以六合為各以呈媿

切入閣唐正觀制自今中書門下及三品以上一太事引刺史一問氏疾

苦偏黃閣漢三公府三門當中開一門下省以黃塗之曰一東閣公孫弘作相開

李義山謂金瓶絢不見題詩于屏云郎君官貴施行馬一因金閣之下
得重窺國寶薛宣謂宋雲曰可留我一觀四方奇士詳更金閣之下
侍衛不過十數人太監無謂一太宰閑閑後吳祐為一自責便韓
守有一羊姑傳一蛙閣一亂人亂一
廷壽一思過多田者懶詳田後魏辛琛為榮陽郡丞客出後閣陳遵投
一兀麗使酒琛每諫止屢後詳朝一曰勿使承入史
北部刺史白博母區開閣王敦荒恣於色乃開後
乃從後閣一詳轄馬婢開閣一十數人詳婢
禽鴉鶉鷄一船鴉一船發海路必養一船殺魚
雉鳩一船鴉一數千里亦能歸其家固史補
隋崔彭武帝宴可任使有鴉鳴梁上命蒲鴉傾筐一青社
一之中上大悅由是善射聞實廷國
時養鴉每與親知書繫鴉足上依
所教飛往投之曰為飛奴元德
一去吸岩底泉綠臂鴉後魏崔光未嘗恚位司徒登坐讀經鴉
百健悟真寺一綠臂鴉飛集膝前入懷中一上父之乃去便金籠放鴉
王丞相生日筆大御龍雀鴉放之每一放祝曰聖靈七鴉雲光寺有七
願相公百歲獲遊象記得一雪衣鴉聖靈七鴉初有少年兄弟
入至寺閉室屋之曰七日慎勿啟門至六日發其封有賦五色鴉徐浩有文
一飛去西北隅未畢晷工見之口神筆也宣室記

其喜雨五色鴉一曰人合兩禽曹元禮善弄令弄東西方
後來之英也唐史一困米不差一詳困
為一唐五合陳詳陳一七寶合月乃一
禮樂志
之蛤魁一又蝦蟆大者曰天蛤番禹每大雷大蛤從
月盛時向月吠蛤注蛙也我蚌蛤胎詳胎蝦蛤格一
下則生水一又蛤生嶺南一羅錄廢蛤也熟一拭令熱
年蛤直蟻國進一不夜珠照人无妍醜雀化蛤仲秋一入水
一蚘詳龜秦罷蛤唐孔戮明州歲貢淡菜蛤後四十三萬人幾奏罷之
度○谷敬都合切孟禮人不亦作谷渠谷具蘭石布一菜誰款即拜嶺南節
蘊每抗刀曰龍泉大阿汝知我者叔父景白麻谷五代白再榮從契丹滅晉
文曰一汝滅我門力蘊小字谷也便
守之晉人攻麻谷走之推再榮為留目覽手谷一歲書詳手楊脩逆谷
後再榮亦貪而无謀号一便
後一嘗出行善畫最擅有問事一為一記敕守舍兒試為鄉谷劉毅樗蒲得雉
曰今出依次通之既而果然操廉之知狀忌修便

兄一喝一問米不答王導問王述在東米價迷張目不答便筆不能答廣一廣一廣一

之成盧詳盧齊晉陵令高爽答劉構高晉陵自答書曰颯蘇合切翔風宋玉賦有颯又纖一紛雜兒峯然峯又纖一紛雜兒

宋鄭鮮之范奏謂之曰卿從聖王有功閑洛令日去人何遠何不肖之甚詳之不答便

也取報小兒履又草履又然鄭季兒相如賦相及銀猶香也卅卅三十

水日徒合切噴香皆憎詩注相對說泚泚猶香也會香唐鄭注

利雜香吳都付合香亂山顏香寄元興悲刺藤文波矢香復一復一方矢復寓

永州墓誌蓬香郭前走風雨暖注於階婦女矢香復一復一方矢復寓

也矢方去而次又在弦上於弦矣颯香兩聲先已風一避銀鞞照白馬

上者方去而方來之矢又寓弦上矣颯香如流星李俠客行本作為

駢韻踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏踏亦作踏

切歡也 敷納 以獻納 雲 艾納 馮仗幽入收 國香和雨入青苔

諸香其烟團聚 天可 衲 補也 元長老以 衲 裝休常披 於歌姬院持鉢

乞食曰不為俗情所染 佛衲 佛言應着 衣當度論云 壞衲 香飯黃

猶疑掛樹 輕慢 散衲 心生 一世尊告摩訶迦葉於此半坐我今知誰先出

家汝耶我耶彼諾比丘 衲 轉馬內響擊戰前 法 湯合切 闔 胡臘

心生恐怖身毛皆豎 闔 者詩鑿以艘 法 奄忽也 闔 切胡

戶闔戶 亦 闔 辨雲叫 闔 詩數 闔 外闔 闔 術于鬼谷先生

枝數闔 以 闔 土填左闔 夫入送王不出屏乃閉左闔填之以土 闔 去血

詩 云 婦勉孟 反 蓋 蒲席曰 又邑 蓋 被 一 蒙荆棘 白蓋 致白

其本 歸乎來 蓋 名孟 祿 萬鍾 蓋 蓋 苦之別名 白蓋 屋之

意蕭望之傳謂 姓 而民自定參 正堂 蓋 公 闔 字次公 魏郡

入對策高第 諫大夫 擢 司隸 校尉 刺 奉 无所避 酒狂 事 詳 狂 字 巨

卿 漁陽 人 長 八 尺 臂 弓 三 百 斤 光 武 以 爲 虎 牙 將 軍 封 安 平 侯 高 像 畫 堂

文 言 人 明 春 秋 刺 史 龔 抗 集 諸 生 講 論 文 達 依 經 下 卒 坐 歌 嗑 言

雷 電 噬 初 九 履 校 滅 趾 无 咎 六 二 蓋 廣 及 滅 鼻 无 咎 六 三 噬 腊 肉 遇 毒

各 上 九 何 噬 盧 蓋 切 張 華 博 物 志 鳳 蠟 淚 花 消 一 風 暴 捲 金 泥 周 禮

校 滅 耳 凶 噬 食 一 主 戶 支 十 日 飢 鳳 蠟 淚 花 消 一 風 暴 捲 金 泥 周 禮

僧 達 跳 下 地 作 虎 子 僧 綽 正 坐 採 蠟 燭 淚 爲 鳳 凰 僧 達 奪 取 一 表 遠 蠟 荷

僧 虔 宗 基 十 二 博 不 墜 落 晉 書 坡 詩 旋 看 鳳 戲 僧 虔 誤 也 遠 蠟 荷

宗 夜 召 之 燭 窮 官 人 明 經 白 蠟 重 方 九 季 不 第 号 白 蠟 一 代 薪 以 蠟 石 崇

以 蠟 濡 一 繼 之 因 明 經 白 蠟 重 方 九 季 不 第 号 白 蠟 一 代 薪 以 蠟 石 崇

嚼 蠟 當 橫 陳 時 味 臘 夏 曰 嘉 辛 殷 曰 清 祀 周 曰 大 蜡 漢 曰 一 者 祭 先

看 天 臘 正 月 朔 爲 一 端 正 日 爲 地 臘 七 夕 爲 道 德 臘 十 地 臘 見 六 漢 臘

王 莽 更 漢 家 黑 貂 着 黃 貂 又 改 一 正 朔 伏 一 日 太 后 令 其 官 屬 黑 貂 至 一 正

一 日 他 與 左 右 食 完 后 傳 後 陳 宥 曾 祖 咸 王 莽 篡 位 咸 猶 用 一 祖 一 曰

我 先 人 豈 知 正 臘 前 嚴 延 年 母 從 東 海 來 欲 從 延 年 臘 云 云 毋 喪 臘 前 武 紀

王 莽 臘 平 使 正 臘 一 一 一 臘 及 正 歲 禮 畢 也 一 正 平 聲 喪 臘 前 武 紀

大酺五日一五日祠門戶比一〇一皆獵取禽獸以獵臘蕭炎秋伏臘
祭之名名臘以立秋臘以十二月互見列 臘龍珠切獵臘為伏一詳獵劔

臘氏為一廣二寸有 臘刀也 道德臘見天 都墨香臘似腰鼓而小一即擗鼓

也籍 〇擗 吐盃切崔琳笏一詳擗一之 懸擗陳蕃為豫章太守不接
外皆他人家詳炭与床韻通看 懸擗實惟徐孺子來將設一

擗去則一之 番為樂安太守郡人周璆高潔 坐擗管寧一木榻五十
之士也惟番能致之為一擗去則一之便 長史擗梁孔休源為晉安

傳 刺史擗後魏薛聰為一州一政存間靜於 長史擗梁孔休源為晉安
別施一云此是孔 獨坐擗 隋韋瑒為營州總管容兒瓌偉一坐客連榻

長史坐入莫得与便 獨坐擗 十一一 番人畏其莫敢仰視一坐客連榻
晉羊琇為護軍社預拜鎮南將軍朝士畢賀皆連 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄
榻坐琇曰社元凱乃連榻一邪不坐而去 換父故榻後魏任城王澄

十六葉

媯一又燿藏火也 吧嗒一短氣 邑阿一諸兒

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

〇區 過合切 晚風葉鳥一住 始 美好兒春

葉 與落切。不改。端葉。亂飄。向人。薤葉。薤秋生。中葉。葉成。柯易。詳柯。且葉。葉世也。羅葉。龍貴。來葉。陸士清文。七葉。一。

內侍何其盛也。葵葉。大陽詳葵。蟬翳葉。顧愷之。擬絕相。玄嘗以一柳葉。給。詳。龍。葉。昔在。有。葉。葉世也。羅葉。龍貴。來葉。陸士清文。七葉。一。

見已愷之引。自蔽。玄就。通。唐。信宗。時。手。祐。於。御。溝。中。拾。一。紅。葉。愷。之。信。其。不。見。已。也。甚。珍。之。通。紅。葉。通。詩。云。流。水。何。太。急。云。云。祐。題。一。葉。云。曾。聞。葉。上。一。一。怨。上。題。詩。寄。阿。誰。置。溝。上。流。宮。女。韓。天。人。拾。之。後。祐。托。韓。休。門。館。因。帝。放。宮。女。三。千。人。休。休。休。嫁。祐。及。成。禮。各。於。寄。中。取。紅。葉。相。示。乃。曰。事。豈。偶。然。一。日。詠。開。宴。曰。子。二。人。可。謝。媒。人。韓。氏。曰。一。照。注。句。隨。流。水。十。載。出。思。滿。素。懷。今。日。却。成。鴛。鴦。友。方。知。紅。葉。是。良。媒。詠。笑。題。桐。葉。蜀。侯。繼。高。見。一。大。桐。葉。有。詩。云。拭。翠。斂。雙。蛾。為。鬱。心。中。事。書。柿。葉。度。下。庭。除。書。成。相。思。念。數。年。繼。高。任。氏。曰。是。妾。所。書。也。簡。云。少。時。望。見。酒。屋。詳。柿。書。葉。陸。羽。撰。懷。素。傳。云。貧。無。紙。飲。葉。葉。東。坡。云。五。少。時。望。見。酒。矣。德。淳。桐。葉。病。貧。賜。茗。一。茶。盞。也。爐。燒。葉。溫。公。謂。媿。野。詩。一。葉。中。天。宿。厭。伴。老。儒。一。豫。北。竹。葉。荆。揚。鳥。程。一。一。谷。也。靈。瀛。竹。葉。陳。李。卿。奉。進。士。長。安。一。一。歲。詳。錄。張。景。陽。七。命。一。二。谷。也。靈。瀛。竹。葉。陳。李。卿。奉。進。士。長。安。一。一。歲。詳。錄。

終南山翁折竹葉置一。高上渭水中。李卿熟。化龍紅葉。史生遊華山有一。視見一舟甚大。恍然登舟。旬余至江南。見翁。紅葉大如掌。紅。可愛。隨流而下。史接置懷中。坐頃。意懷中。冷。重。見。葉。上。粟。而。動。驚。奔。林。中。須。臾。白。煙。弥。谷。下。山。未。半。風。雷。大。至。一。妻。名。桃。葉。王。敬。桃。葉。歌。俗。今。樂。錄。詳。輯。狂。花。病。葉。飲。流。謂。睡。毗。者。為。一。古。樹。生。枝。葉。褚。翔。與。守。郡。西。亭。一。枯。死。忽。射。柳。葉。養。由。基。去。柳。葉。百。步。貝。葉。問。持。一。書。更。一。善。政。所。感。也。像。射。柳。葉。之。百。發。百。中。詳。中。貝。葉。步。出。東。奇。讀。柳。語。超。師。西。域。經。一。變。詩。篇。飽。有。苦。葉。刺。衛。宣。公。也。○。蘇。姓。氏。南。陽。羽。音。多。以。貝。多。葉。書。之。沈。諸。梁。字。子。高。食。采。於。葉。者。攝。因。氏。吳。有。都。尉。一。公。子。高。好。龍。見。真。龍。而。走。許。龍。一。云。法。善。州。人。葉。與。明。皇。游。廣。陵。詳。稿。授。銀。青。光。祿。大夫。封。越。國。公。一。趙。宋。人。字。少。蘊。家。蘇。州。文。華。清。顯。參。太。政。致。仕。居。雲。川。開。山。為。徑。玲。瓏。秀。發。号。石。林。居。士。詩。酒。自。娛。諸。福。全。備。一。字。道。卿。天。聖。初。殿。試。宋。郊。第。一。清。臣。第。二。再。入。翰。林。一。字。子。昂。仙。遊。入。調。南。海。嶺。尉。事。有。獲。盜。授。公。者。公。曰。吾。方。入。仕。豈。宜。自。欺。孝。宗。除。參。政。事。上。曰。卿。之。清。德。自。是。愈。光。矣。拜。左。僕。射。同。平。章。事。一。号。水。心。生。文。集。行。世。一。願。自。仕。宋。知。光。化。縣。歌。曰。清。如。水。平。如。衡。一。武。人。即。有。瑞。福。視。其。實。為。登。科。及。第。之。驗。初。治。熙。寧。三。一。接。即。藥。切。孟。其。一。也。以。禮。仁。三。接。一。登。日。一。容。年。進。士。第。本。未。双。突。一。武。變。龍。詳。武。仁。三。接。一。易。一。容。

終南山翁折竹葉置一。高上渭水中。李卿熟。化龍紅葉。史生遊華山有一。視見一舟甚大。恍然登舟。旬余至江南。見翁。紅葉大如掌。紅。可愛。隨流而下。史接置懷中。坐頃。意懷中。冷。重。見。葉。上。粟。而。動。驚。奔。林。中。須。臾。白。煙。弥。谷。下。山。未。半。風。雷。大。至。一。妻。名。桃。葉。王。敬。桃。葉。歌。俗。今。樂。錄。詳。輯。狂。花。病。葉。飲。流。謂。睡。毗。者。為。一。古。樹。生。枝。葉。褚。翔。與。守。郡。西。亭。一。枯。死。忽。射。柳。葉。養。由。基。去。柳。葉。百。步。貝。葉。問。持。一。書。更。一。善。政。所。感。也。像。射。柳。葉。之。百。發。百。中。詳。中。貝。葉。步。出。東。奇。讀。柳。語。超。師。西。域。經。一。變。詩。篇。飽。有。苦。葉。刺。衛。宣。公。也。○。蘇。姓。氏。南。陽。羽。音。多。以。貝。多。葉。書。之。沈。諸。梁。字。子。高。食。采。於。葉。者。攝。因。氏。吳。有。都。尉。一。公。子。高。好。龍。見。真。龍。而。走。許。龍。一。云。法。善。州。人。葉。與。明。皇。游。廣。陵。詳。稿。授。銀。青。光。祿。大夫。封。越。國。公。一。趙。宋。人。字。少。蘊。家。蘇。州。文。華。清。顯。參。太。政。致。仕。居。雲。川。開。山。為。徑。玲。瓏。秀。發。号。石。林。居。士。詩。酒。自。娛。諸。福。全。備。一。字。道。卿。天。聖。初。殿。試。宋。郊。第。一。清。臣。第。二。再。入。翰。林。一。字。子。昂。仙。遊。入。調。南。海。嶺。尉。事。有。獲。盜。授。公。者。公。曰。吾。方。入。仕。豈。宜。自。欺。孝。宗。除。參。政。事。上。曰。卿。之。清。德。自。是。愈。光。矣。拜。左。僕。射。同。平。章。事。一。号。水。心。生。文。集。行。世。一。願。自。仕。宋。知。光。化。縣。歌。曰。清。如。水。平。如。衡。一。武。人。即。有。瑞。福。視。其。實。為。登。科。及。第。之。驗。初。治。熙。寧。三。一。接。即。藥。切。孟。其。一。也。以。禮。仁。三。接。一。易。一。容。年。進。士。第。本。未。双。突。一。武。變。龍。詳。武。仁。三。接。一。易。一。容。

接李膺士披... 精神接... 不暇

應接... 桂楫... 沙

作船... 不用楫... 女子持楫

我自楫迎... 祖逖擊楫... 而誓曰

趙簡子擊楚... 命簡子將渡... 而前曰

為夫人... 不交睫... 前袁盎謂文帝曰

不見睫... 今王知晉之失計... 不知越之過

公遊嵩山... 聞呻吟聲... 乃一病

一曰持此照... 之即知矣... 李公自賦

在傷處... 鶴謝曰... 公即為宰相

之不聞其聲... 離朱子羽望之... 不見形

觀書於市... 安能... 依之亮曰

攝荆軻... 善論劍... 聶怒而目

朋友攝... 也朋友助祭... 者亦收威儀

大夫... 又李巨事... 同訓孤權攝

詳熱... 真龍... 飲氣也

反驚... 詳龍... 飲氣也

嘗與傭耕... 者叩宮門... 曰吾欲見

段壁... 惟帳客... 曰之為王沈

參涉... 劉穆之... 手答箋書

巨涉... 大海驚... 深涉

日涉... 趣漏去... 來解不虞

周亞夫... 夫右走... 得善言

藍田... 詳下... 得善言

享一乎日一道而得道一德

而得德云云是樓享也揚李行漁獵張鎬視經史猶一

期獵魏文侯與虞人會期哉詳期涉獵賈山一書記不專精也若涉

徒之言伏臘為一擬之曰省狎獵京甘重接兒輪獵小車也果獵龜前

中豈容有一待郎平乃出之更狎獵京甘重接兒果後奔諸獵左倪不類右倪不若亦雅諸碎也謂龜甲前長弁覆者名宋周

禮東龜曰果屬是也甲後長弁覆者各獵周礼南龜曰獵是也果羅上

縛獵微車輕武鴻銅一相差次兒上音捷鱗集復光前不復獵翟莊

釣為事及長一曰知趙獵魏北境奉烽言趙寇至信陵君曰趙王曰臣

獵自我釣自物詳鈞客能探得趙王陰事西伯卜獵將獵曰所獲非熊非龍非非母戒遊

獵趙武孟少游獵以所獲饋母泣曰汝不為好不能不獵後陽王田言

者是以知之史記唐齊王元吉事同法套風一蒲一躍不等法套超一鬃馬

之惟留一握又号齊鬃公南史霧鬃柳晉問朱鬃宋破父向魁取弟之

鬃別其種類有妍蹄三花鬃樂天詩姪衣裁四葉馬鬃剪古鬃

鬃小領遠志張說監牧碑魚鬃詩唐御馬甲龍火鬃宣

師擊指一黑一自甲中出初小俄法套捷疾葉切左戰而不

長丈餘一電奔擢空而去宣室志捷疾葉切左戰而不

徑也七捷隋楊義臣從煬帝征遼每為先三捷一日獻捷子產楚一困

功捷後魏王肅虛須捷貧可留恩當記齊齊人衣也揚方音

水虎捷宋太祖於朱明門外造樓船百艘草隸奸捷唐裴伶工每日枯

書不擇筆墨而一更慚霜滿擲鏡鑷晉林王年五歲高帝令

誰耶答曰大翁帶曰豈有為人曾寸金鑷試令取一毫亦赴鑷疾若

陳留刀鑷山谷云市有工无室家惟一女七歲日以刀鑷所得錢

云云時人能奉酒
驕驕馬步疾
驕驕史履紳
驕驕躡擔簦
足珠登躡山水

驕驕通作驕
驕驕附耳私語
驕驕山東微首衛大夫食采於良

驕驕國無一
驕驕尚又吳志有將軍
驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕護苑校尉
驕驕與志有將軍
驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕與志有將軍
驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

驕驕支石遺錄中有中書令

商報書公曰傳語本蘭亭帖共賞一國來禽帖尚書故實至選少有蜀郡守

官今日斷屠侯籍求一青李櫻死日給藤子帖

通神帖張延賞見一帖云奉子十萬貫乞不借船帖王內史一盧尚書

後盧家郎君切出求售古今帖度州呂倚承事年八十三讀書作詩不已收

詐為古帖李邕不許蕭誠書蕭乃一示邕曰右軍真跡豈欣然奔馬

射帖後梁蕭琛善弓馬遣人伏地貼以物為質又

射帖持帖一十發十中史林為一協協博涉群書時領協同名

同兵一恭。府中二協才李亞之

任俠相與信為一同是非為一所謂權豪俠

幽州大俠王術妻郭氏貪戾一刺史

不挾不挾長不挾貴不挾懷為一法近也遊俠言能相從一行一持之事

缺馮驩寄食孟嘗君門一缺歌曰長缺歸來乎詳劍

頰頰玉人一怒色人怒則色紅黎頰胡澹庵詩芳有一生微

表招執高祖曰單批頰五代唐故新曆堂頰中和一下東南一城餘杭熱不

門三伏常蕭然也詩注。官。額額補頰吳鄭夫人誤傷頰得白一三毛

加頰額之益裴楷象頰上飯著兩頰晉郝隆值喪亂窮餓鄰人共飴之鑿

存本二兒兄子白鬚紅頰杜介之有隱士風李光贈詩子鋤中頰高復且

外甥周翼也

詳與奕奕楊花一一无才思。漢吳以久重賞奕生一每月朔日

日二落一曆奕亦曰一抱朴養奕其植草宜奕物匪一驚雷奕僧志

缺古協切亦作士為夾天子之劍周宋為鐔韓魏為夾諸侯之劍以忠

頰玉人一怒色人怒則色紅黎頰胡澹庵詩芳有一生微

表招執高祖曰單批頰五代唐故新曆堂頰中和一下東南一城餘杭熱不

門三伏常蕭然也詩注。官。額額補頰吳鄭夫人誤傷頰得白一三毛

加頰額之益裴楷象頰上飯著兩頰晉郝隆值喪亂窮餓鄰人共飴之鑿

存本二兒兄子白鬚紅頰杜介之有隱士風李光贈詩子鋤中頰高復且

外甥周翼也

詳與奕奕楊花一一无才思。漢吳以久重賞奕生一每月朔日

日二落一曆奕亦曰一抱朴養奕其植草宜奕物匪一驚雷奕僧志

奉以草帶許泰厭者藝皂夷五代蜀主王衍奢縱耽迷香粉夜不妻妬賣

皂莢宋刘休一王氏一掃帚以辱之詳帚○**篋**苦協切錦篋衛人饋叔向羹

反錦班婕妤好扇詩弃珠篋隋独孤后突厥有明一價直八百萬與

因拍篋箭中詳扇珠篋中國交市后曰未若以八百刀分賞有功者

鼓篋入李一遜膝篋莊子將為一探發發置之盜為守備則必亦械

從旁開為朕筆篋賈誼曰俗吏所務在於刀柳篋唐柳宗元左拾遺以謗書

一篋樂羊既投中山而論功文侯亡書漢武幸河東一惟張安

无所遺上抄書數十篋過八十手麟遭火燒書數千卷年恆快也○

事在牒梁張率武帝問奏姬取牒唐刘仁軌與戴至德俱為僕射仁軌執解

因直出欲抗表自匡衡隨牒注謂隨補之常牒不被起擢也破賊限牒唐

射乃非是推白牒梁蔡摛奏用王筠為殿中郎武帝婚不取參贊通署

以爲解事推白牒於地擲拾牒起曰臣謂奉亦所知无煩參贊署者

回武等伐刘積回督戰責王宰石雄魚比目牒小舟也狂詩

寧等震怒期六旬取際未及期三日賊平便魚比目牒取給行子

探指探城上女垣粉以壁土塗之故雉如雲○**蝶**名

野娥風一名蝶莊周一為胡一胡蝶之胡蝶然不知周也俄然竟則

晉大者曰鳳子蝶也不知周之為胡一胡蝶之為周與胡一必有

分矢是謂金玉蝶唐穆宗禁中千葉牡丹開有黃白蝶萬教繪花蝶南孝

物化胡一飛去謝胡蝶趙宋謝逆有蝶詩三百勝

王蝶王廷官詞內有數日无呼喚得宮中放蝶明皇春時宴於

親提粉蝶之隨止幸之佳蜂雌蝶非偽○**蝶**名

揚妃專宠不復此開元禮樂志披圖按蝶便語蝶○**蝶**名

破使蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

蝶蝶間荆公知微如又蝶便語蝶○**蝶**名

十餘見小敵怯光武一不以為怯管仲曰吾三戰詳知謂葛亮怯
方更見大敵勇今見大敵勇不以為怯管仲曰吾三戰詳知謂葛亮怯
媿延請兵万人與諸葛亮異道會于潼關○劫居怯切劫猶汲也
亮不許延恨已才用之天不使劫人皆切劫猶汲也
浩劫官殿大階級也又度人經云惟有元始威劫秦以夷齊行劫周公孔
殺人伯叔一承一戴淵掠劫淵少時陸機赴洛輜重其盛淵使少年
廟野貪戲言酷吏也戴淵掠劫淵少時陸機赴洛輜重其盛淵使少年
顛機於船屋上遙曰卿才如此亦復作劫邪淵便京師白劫後宗室脩義為
涕泣投劍歸機乃薦之仕至征西將軍淵說
貨殖高居求上黨郡不与居言不遜對眾呼夫唱賊人問○塵劫儒為世釋
白曰安得有賊居曰物多者有官非大賊乎○塵劫儒為世釋
塵百千劫彈指釋嚴經猶如人名燕將田被裾也桂珠塵蛭形如
龜東海拾交領也記深衣曲一以○浥緝韻看裏韻看踏業
有紫一拾應方觀不上於○浥緝韻看裏韻看踏業
前定則不拾將棄矢一級詳綴級詳綴

十七拾

與狎之同用

浴侯夾切水名在之陽又淵洽為文一○澀洽管被丑之一○累
洽重熙一協洽未歲名歡洽遠近一一陝亦亦陝陝亦亦陝陝
唐太平公主謂儒者一院陝周亞夫擊吳趙陟之閭史○澆陝郡國一○洞庭
厚持金帛謝之一院陝周亞夫擊吳趙陟之閭史○澆陝郡國一○洞庭
廣陝五代樊王馬殷子希範脩貢京師唐宗問一所持者狹袂者一
○佛性陝此齊杜瑛帝問說者妄言法性寬一○洽先合祭也
祭也記三歲日一○峽三峽月峽巴楚地有一明急峽高注一
貞女峽秦時有女子化石在岸一○怡苦洽切弁缺四隅謂之一○魏武紀
亦作白怡釋或服著一與牽秀相見晉陸機一○無顏怡
怡名之曰顏後去其縫一
名曰一一無顏者愧之言也錦不可為怡晉袁甫曰一人有不能中之
美莫過怡不可以為壘困一○怡苦洽切弁缺四隅謂之一○魏武紀
可以為壘困一○怡苦洽切弁缺四隅謂之一○魏武紀

名曰一怡一無顏者愧之言也錦不可為怡晉袁甫曰人有不能中
美莫過怡不可以為壘困一怡苦洽切弁缺四隅謂之魏武紀
可以為壘困一怡苦洽切弁缺四隅謂之魏武紀

血手心錢一招唐武德中行開通元寶一初進標文鼻上插馬祖引手插百
鴨流套闌干恰在帝夾古洽切匠輔成王日銷夾西謂巧言膠

者板夾孫揆被挑錯解之不行揆婢夾陳乾昔曰我死使訖和通合笑著
固板夾罵曰解人須用一詳解婢夾二子我詳婢訖和通合笑著

插楚治左插侍中一騎冠常龍蛇插大刀長劍芳心插亭一亂葉中一
插楚治左插侍中一騎冠常龍蛇插大刀長劍芳心插亭一亂葉中一

鹿車携酒使人一隨杖甫田單立則一荷斧請受下夫之役詳役辛甫一雲決渠
鹿車携酒使人一隨杖甫田單立則一荷斧請受下夫之役詳役辛甫一雲決渠

色洽切獸也古詩載懷千金又盟者以血塗也蓬也通作簞長簞一納涼還
色洽切獸也古詩載懷千金又盟者以血塗也蓬也通作簞長簞一納涼還

出大阿塵匣一鏡在蛟龍匣一落一杜鹿硯匣硯匣留一尺日蘭亭玉
出大阿塵匣一鏡在蛟龍匣一落一杜鹿硯匣硯匣留一尺日蘭亭玉

惟第七者光照目雅劉一鴨淮蔡一池一舒息百官志鈎盾署掌供一
惟第七者光照目雅劉一鴨淮蔡一池一舒息百官志鈎盾署掌供一

射鴨不如竹枝弓一元是非孟郊言舟人仍開土鴨天池日蛙龜注
射鴨不如竹枝弓一元是非孟郊言舟人仍開土鴨天池日蛙龜注

百隻置後將雛鴨願為穿雲鶴莫打鴨適杭州一夜則竟二日欲答郡妓
百隻置後將雛鴨願為穿雲鶴莫打鴨適杭州一夜則竟二日欲答郡妓

妓曰不敢辭恐抗妓不安士隆念之梅聖俞詩
打鴨驚鴛鴦新向池中落不比孤洲老鷓鴣
美水草一而雞伏鴨隨母鴨雞異類也風俗通爛蒸鴨盧懷慎召客食
物折項客疑詳與杜荀鴨有富家子杜四郎為詩號送千頭鴨陳武帝為梁相北
是鵝一詳與杜荀鴨以此杜荀鶴泥送千頭鴨齊兵渡江時食此
會文帝一米及鴨一帝令炊米煮一計諸曹是鴛鴦謂之武制官一取飛之迅速
糧數商人一畏飯媵以鴨肉大破齊軍更諸曹是鴛鴦謂之武制官一取飛之迅速
也因俗元霄似鴨後周元善言於武帝曰蘇威法菰浦野鴨春草肥牛脫鼻
飛去俗一百丈與祖見野鴨子祖問是甚麼曰野鴨子又曰甚麼處去曰
飛過去引手指百丈鼻百丈文作痛祖曰何曾飛過去百丈大悟傳如
押署六押李必曰給舍分司押事賈山至言萬鈞所一楊山壓如
押也故舍人謂之一也金銀壓一郡邑之治本惠養柳仲鄂
詳外晨壓而陣成十六彈壓王元長曲水詩牢卷天地一山川柳仲鄂
氏高位壓大凡指生趨義者終始一金銀壓一郡邑之治本惠養柳仲鄂
古押切一歲名謂逢或音煙月在甲日畢文甲前西域贊一通犀盈組
益弁一曳兵又押也詩能不我一易一斥文甲於後宮一一即玳瑁組

甲楚子重伐吳一一二百被練金甲文料李結晉一一同光一一同光
衣水犀之甲非甲北齊突厥至并州帝與宮人被一一一同光
者三千同緋甲登城以望軍營此整甲下文詳鉄裏甲在衣中一一同光
蹲甲養由基一而射之蜩甲一也飛寓言蟬蛻皮山螺甲掩可聚香獨
燒則臭本草一割崑崙崑耳俗注取大菜甲自鋤稀一一同光
甲香如崑崙耳者酒煮蜜熬入諸香用菜甲摘為情親一一一同光
寬征顏甲進士王光遠干索權豪无厭或遭捷辱零无改令甲一一同光
有先後故有一一一同光
今乙今丙宣帝此甲威事見雌先甲三日後庚三日李林云甲主仁先後
皆以寬令示之庚主義先後皆以嚴令示之二甲管輅言額无生骨眼
甲庚先後三日為辛丁言自辛丁寧也互見辛又二甲管輅言額无生骨眼
无天根皆无三甲腹綠沈甲帝賜一一一同光
无三壬皆不壽之相綠沈甲帝賜一一一同光
射焉一發在軍不甲羊祐一一同光
洞貫甲蜀李平為都護陳震日正方一一同光
鱗甲蜀李平為都護陳震日正方一有一一一同光
鄉黨以為不可近後平果在涇周廢也敗鱗甲華州狂子張元雪

天飛西清詩話文德指甲開通錢背有一后一按殺老卒伺甲

改秀實殺郭晞暴卒馳馬至晞門下甲者出秀潘第一前一名一子僕得

老子清生符得不死列仙傳富賈人有貧羊脚此狄骨

操詳漢祖時校尉大破楚兵榮陽使押輔檢押蠹迪一揚一拱押長

所居之北漢海晝長夜短日入烹一一一歐一押也檢押注檢束也拱押長

東方已明唐夷狄傳歲月幾如熟一一一歐一押也檢押注檢束也拱押長

統曰言論一一一天一人一押一又一嗥一眾一聲一呀一押一口一也一下一吸一也一言一水一勢一吸一押一吳一都一

容一押把盞對花一一一之一房一法一切一法一反一正一為一一一三一之一車一僕一大一射一共一一一名一容一射一

人云三獲三容以其矢至侯力之不去一一一東一承一之一韓一厥一撰一官一一一振一之一賜一貧一

都賦注之以華為之獲旌者之禦矢互見容承之一一一前一胡一建一傳一李一者一法一官一之一

為一國法周九府一一一關一法一出一客一詳一關一柱一法一詳一取一一一戈一法一唐一太一宗一書一散一字一妮一

沈命法漢武一未一盜一賊一起一於一一一詐一命一一一貪一玉一法一李一預一羨一古一人一一一太一公一兵一法一張一良一一一詳一

領治官八法以一一府一周一禮一書一之一八一法一王一逸一少一一一求一字一以一其一一一二一王一書一法一齊一張一

草書高帝曰知恨无一一一王一无一臣一法一臣一商一君一立一法一吏一捕一一一至一關一下一欲一舍一客一

非恨无二王法亦恨二王无臣法一一一臣一商一君一立一法一吏一捕一一一至一關一下一欲一舍一客一

驗者坐之商君嘆曰不傳算法一一一先一人一得一此一術一尚一為一帝一王一師一今一二一世一不一過一太一史一

復一誠一欲御用卿法一一一法一自一一一詳一卿一囚一無一死一法一唐一李一白一知一為一司一刑一參一等一

日吾不去曹囚无生理日知日僕不行酒軍法一一一詳一酒一法一夫一人一禮一法一鍾一之一

去曹一夫一之一一一武一后一用一日一知一議一因一行一酒一軍一法一劉一章一以一罪一法一夫一人一禮一法一鍾一之一

王輝妻鍾第嫂妻郝不辜兵法一一一顧一方一略一何一如一尔一一一古一一一更一對一日一有一為一法一

不一法門詳八萬四千法門詳姓一代一東一漢一為一平一氏一長一發一捕一奸一吏一民一與一愛一仕一

皇清
文淵閣
藏書

韻府羣玉卷之二十

入聲

文化
成
展

レリ
メ
ヤ

天南
九

三

天南
九

三

天南
九

内閣文庫
漢書類
二九八號
一〇冊
三六函
一三架